

3 環境・エネルギーに 対する意識

-
- (1) 環境のために心がけていること
 - (2) 震災前のエネルギーに対する意識
 - (3) 震災後のエネルギーに対する意識
 - (4) エネルギーに対する考え
 - (5) エネルギー使用についての現在の状況
-

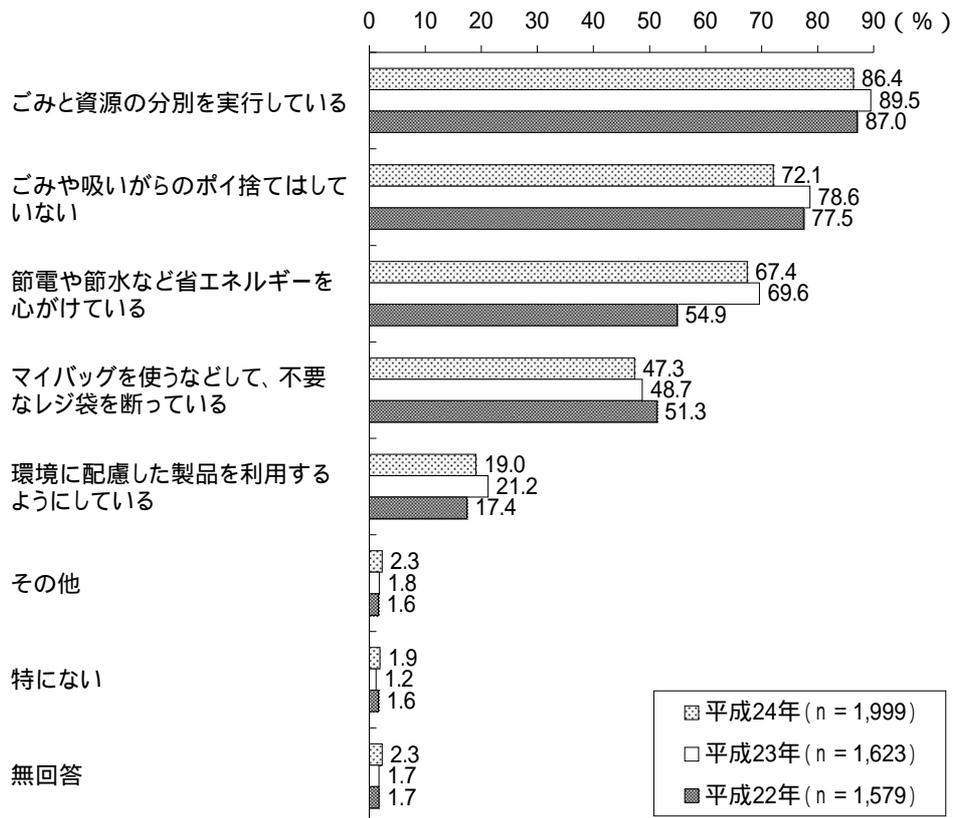
3 環境・エネルギーに対する意識

(1) 環境のために心がけていること

「ごみと資源の分別を実行している」人が8割半ば

問10 あなたが環境のために心がけていることは何ですか。(はあてはまるものすべて)

図3 - 1 - 1 環境のために心がけていること - 過年度比較



環境のために心がけていることを聞いたところ、「ごみと資源の分別を実行している」(86.4%)が8割半ばで最も高く、次いで「ごみや吸いがらのポイ捨てはしていない」(72.1%)、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(67.4%)、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(47.3%)、「環境に配慮した製品を利用するようにしている」(19.0%)の順となっている。

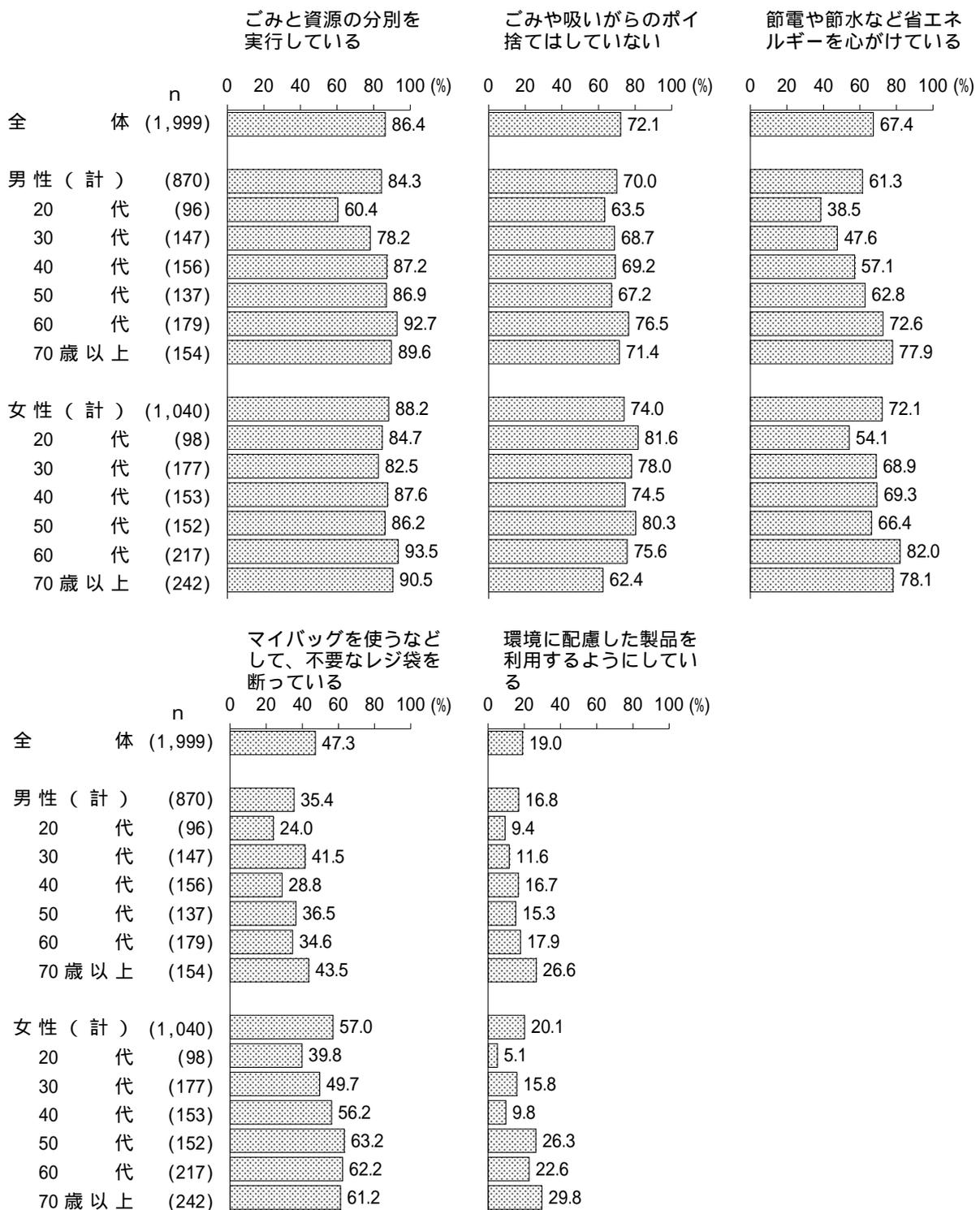
過去の調査と比較すると、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は平成22年以降減少傾向となっている。また、「ごみや吸いがらのポイ捨てはしていない」は平成23年より6.5ポイント減少している。(図3 - 1 - 1)

性別で見ると、いずれにおいても女性が男性を上回っており、特に「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（57.0%）が男性（35.4%）より 21.6 ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「ごみと資源の分別を実行している」は男女とも60代（女性93.5%・男性92.7%）と女性70歳以上（90.5%）で9割を超え高くなっている。また、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は男性では高い年代ほど割合が高くなる傾向にある。

（図3 - 1 - 2）

図3 - 1 - 2 環境のために心がけていること - 性別、性・年代別（上位5位）

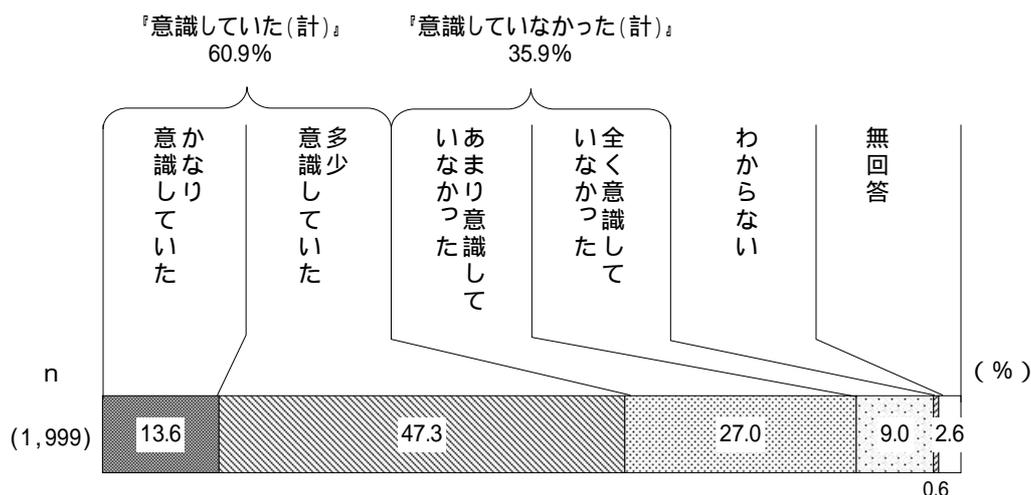


(2) 震災前のエネルギーに対する意識

『意識していた』人が6割

問11 あなたは東日本大震災が発生する前に、省エネや節電などエネルギーについて意識していましたか。(は1つだけ)

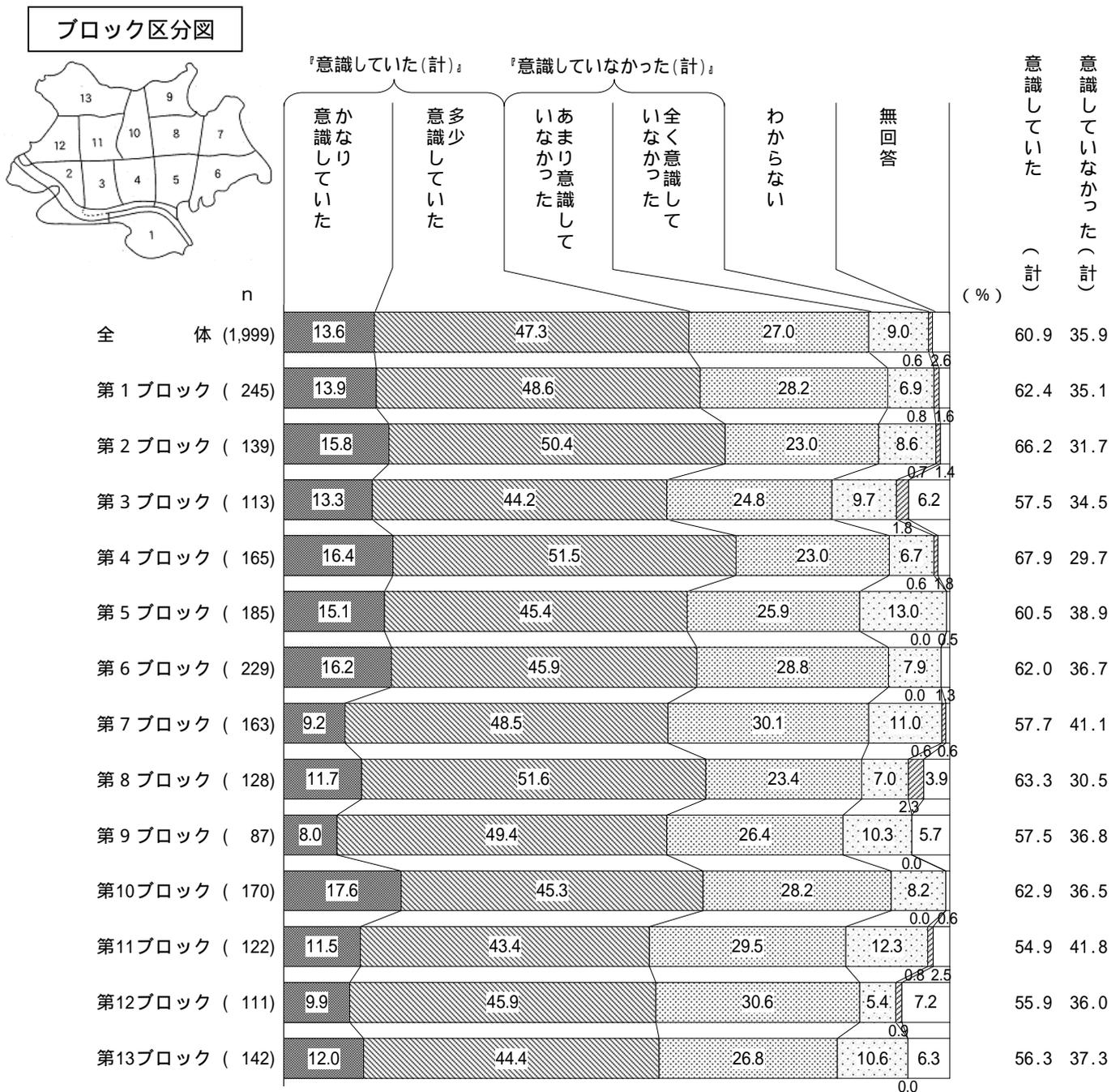
図3 - 2 - 1 震災前のエネルギーに対する意識



東日本大震災が発生する前に、省エネや節電などエネルギーについて意識していたか聞いたところ、「かなり意識していた」(13.6%)が1割を超え、これに「多少意識していた」(47.3%)を合わせた『意識していた(計)』(60.9%)が6割となっている。一方、「全く意識していなかった」(9.0%)と「あまり意識していなかった」(27.0%)を合わせた『意識していなかった(計)』(35.9%)が3割半ばとなっている。(図3 - 2 - 1)

地域ブロック別でみると、『意識していた(計)』は第4ブロック(67.9%)で7割近くと高くなっている。一方、『意識していなかった(計)』は第11ブロック(41.8%)と第7ブロック(41.1%)で4割を超え高くなっている。(図3-2-2)

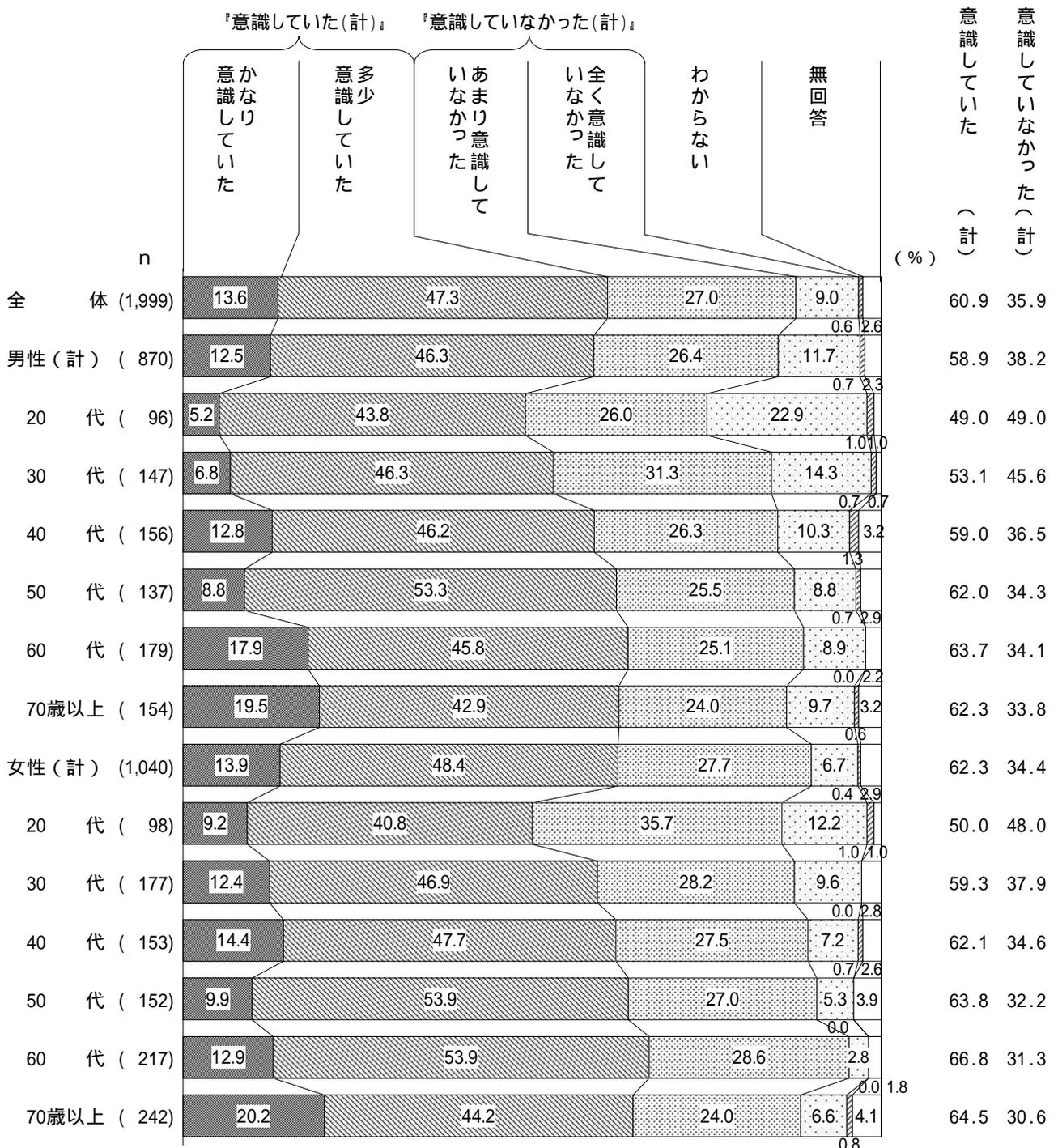
図3-2-2 震災前のエネルギーに対する意識 - 地域ブロック別



性別で見ると、男性で『意識していなかった(計)』(38.2%)が女性(34.4%)より3.8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「かなり意識していた」は男女とも70歳以上(女性20.2%・男性19.5%)で2割と高く、『意識していた(計)』は女性60代(66.8%)で最も高くなっている。一方、『意識していなかった(計)』は男性20代(49.0%)でほぼ5割と高くなっている。(図3-2-3)

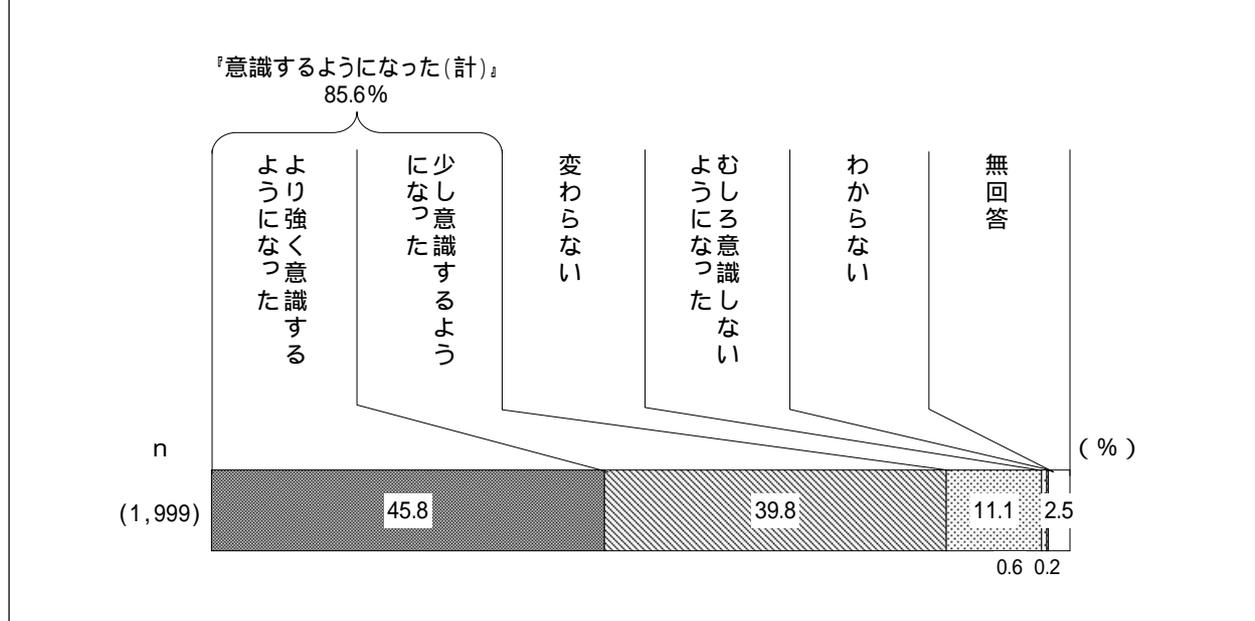
図3-2-3 震災前のエネルギーに対する意識 - 性別、性・年代別



(3) 震災後のエネルギーに対する意識
『意識するようになった』人が8割半ば

問12 あなたは東日本大震災が発生した後、省エネや節電などエネルギーに対する意識が変わりましたか。(は1つだけ)

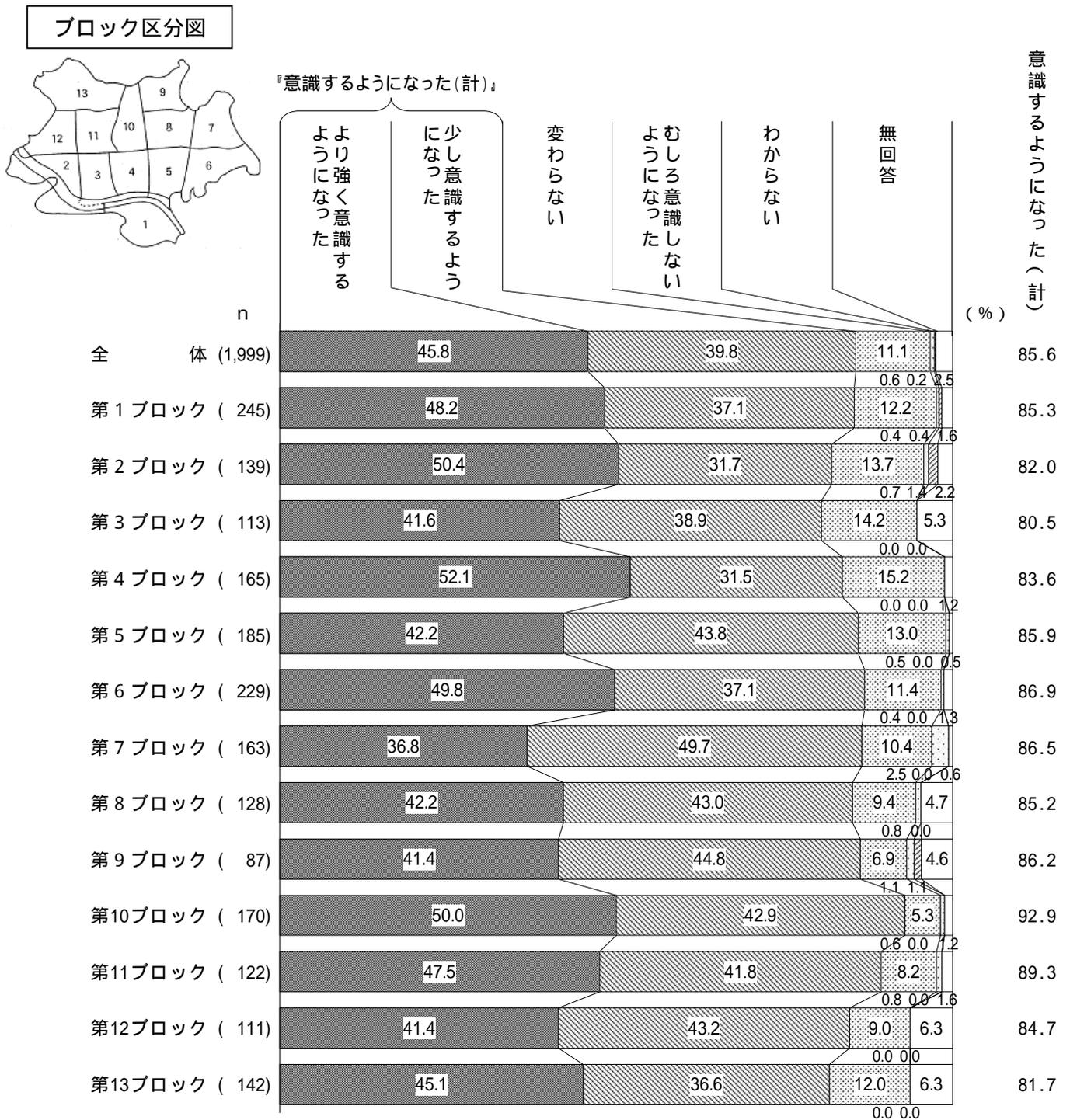
図3-3-1 震災後のエネルギーに対する意識



東日本大震災が発生した後、省エネや節電などエネルギーに対する意識が変わったか聞いたところ、「より強く意識するようになった」(45.8%)が4割半ば、これに「少し意識するようになった」(39.8%)を合わせた『意識するようになった(計)』(85.6%)が8割半ばとなっている。また、「変わらない」(11.1%)が1割を超え、「むしろ意識しないようになった」(0.6%)はわずかとなっている。(図3-3-1)

地域ブロック別でみると、「より強く意識するようになった」は第4ブロック（52.1%）で最も高くなっている。また、『意識するようになった（計）』では第10ブロック（92.9%）で9割を超え高くなっている。（図3-3-2）

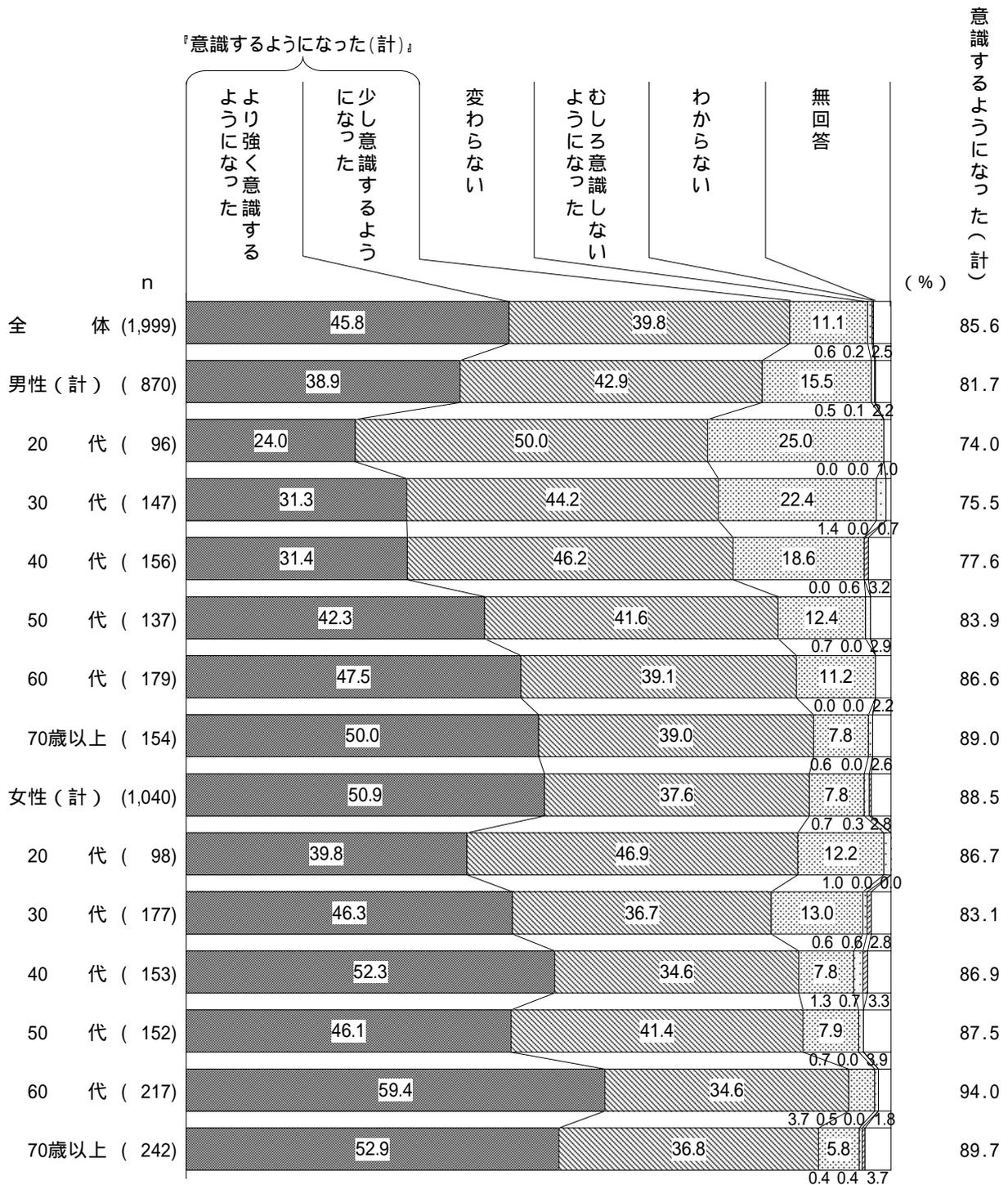
図3-3-2 震災後のエネルギーに対する意識 - 地域ブロック別



性別で見ると、女性で『意識するようになった(計)』(88.5%)が男性(81.7%)より6.8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「より強く意識するようになった」は女性60代(59.4%)でほぼ6割と高く、『意識するようになった(計)』でも女性60代(94.0%)で9割半ばと高くなっている。また、「変わらない」は男性では低い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、男性20代(25.0%)で2割半ばと高くなっている。(図3-3-3)

図3-3-3 震災後のエネルギーに対する意識 - 性別、性・年代別



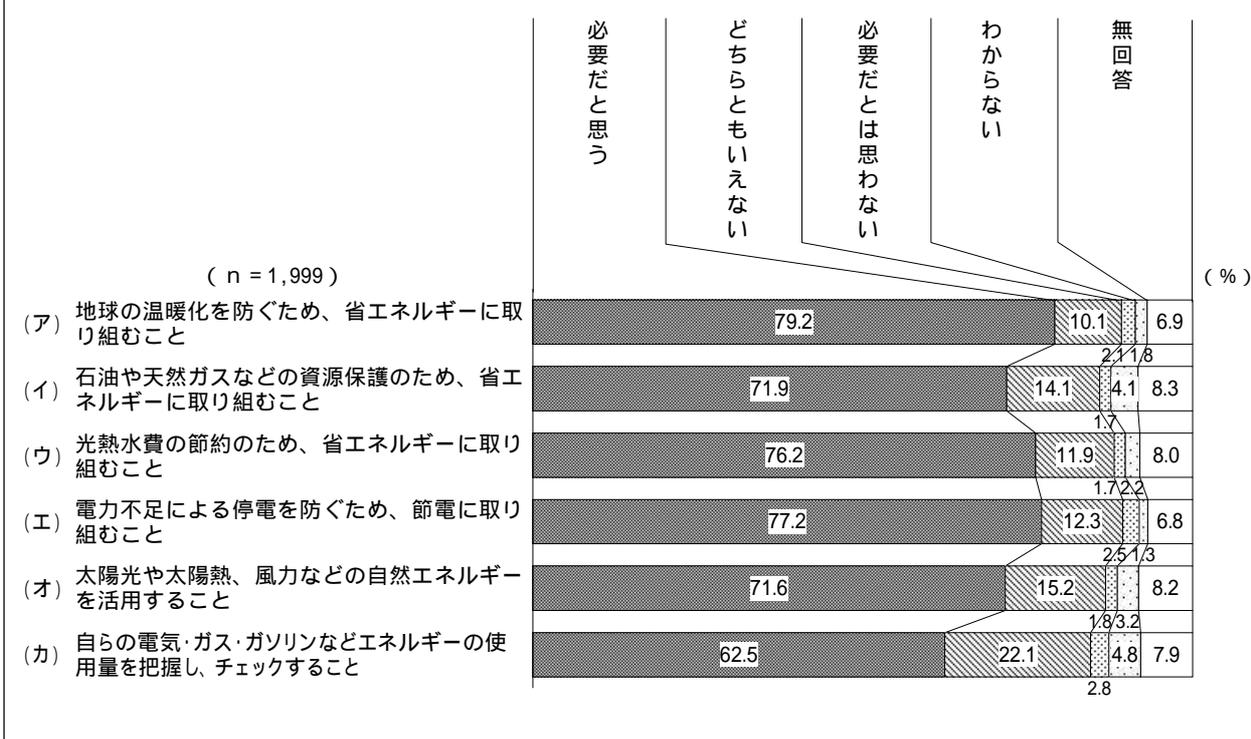
(4) エネルギーに対する考え

【地球の温暖化を防ぐため、省エネルギーに取り組むこと】が必要だと思う人がほぼ8割

問13 エネルギーについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

(は各項目とも1つだけ)

図3-4-1 エネルギーに対する考え



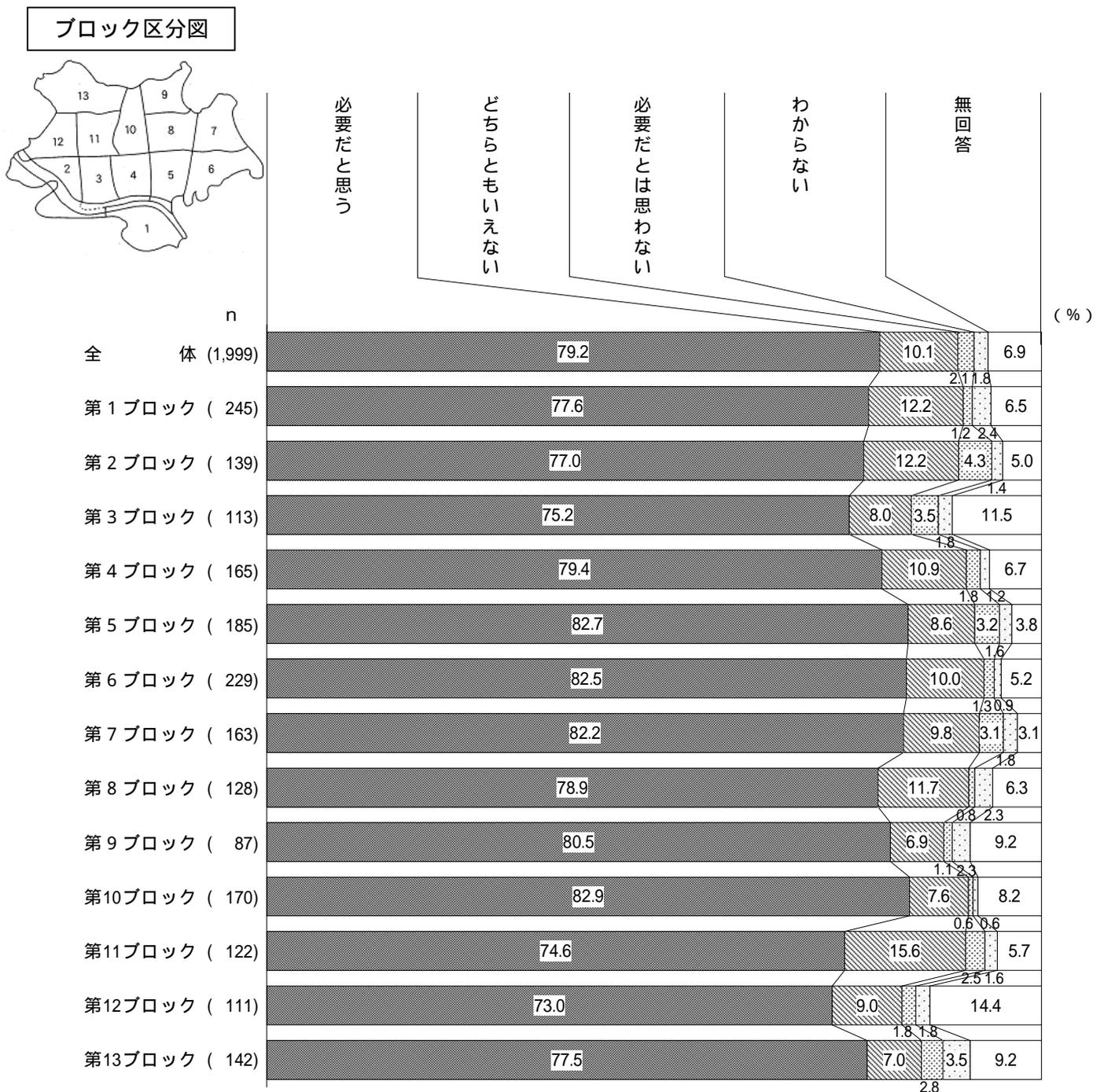
エネルギーに対する考えを聞いたところ、「必要だと思う」は、【地球の温暖化を防ぐため、省エネルギーに取り組むこと】(79.2%) がほぼ8割で最も高く、次いで【電力不足による停電を防ぐため、節電に取り組むこと】(77.2%) と【光熱水費の節約のため、省エネルギーに取り組むこと】(76.2%) の順で高くなっている。

また、「どちらともいえない」は、【自らの電気・ガス・ガソリンなどエネルギーの使用量を把握し、チェックすること】(22.1%) が2割を超え最も高く、次いで【太陽光や太陽熱、風力などの自然エネルギーを活用すること】(15.2%) と【石油や天然ガスなどの資源保護のため、省エネルギーに取り組むこと】(14.1%) が1割半ばと高くなっている。(図3-4-1)

地域ブロック別でみると、「必要だと思う」は第10ブロック(82.9%)と第5ブロック(82.7%)と第6ブロック(82.5%)と第7ブロック(82.2%)と第9ブロック(80.5%)で8割を超え高くなっている。また、「どちらともいえない」は第11ブロック(15.6%)で1割半ばと高くなっている。(図3-4-2)

図3-4-2 エネルギーに対する考え - 地域ブロック別(ア)

(ア) 地球の温暖化を防ぐため、省エネルギーに取り組むこと

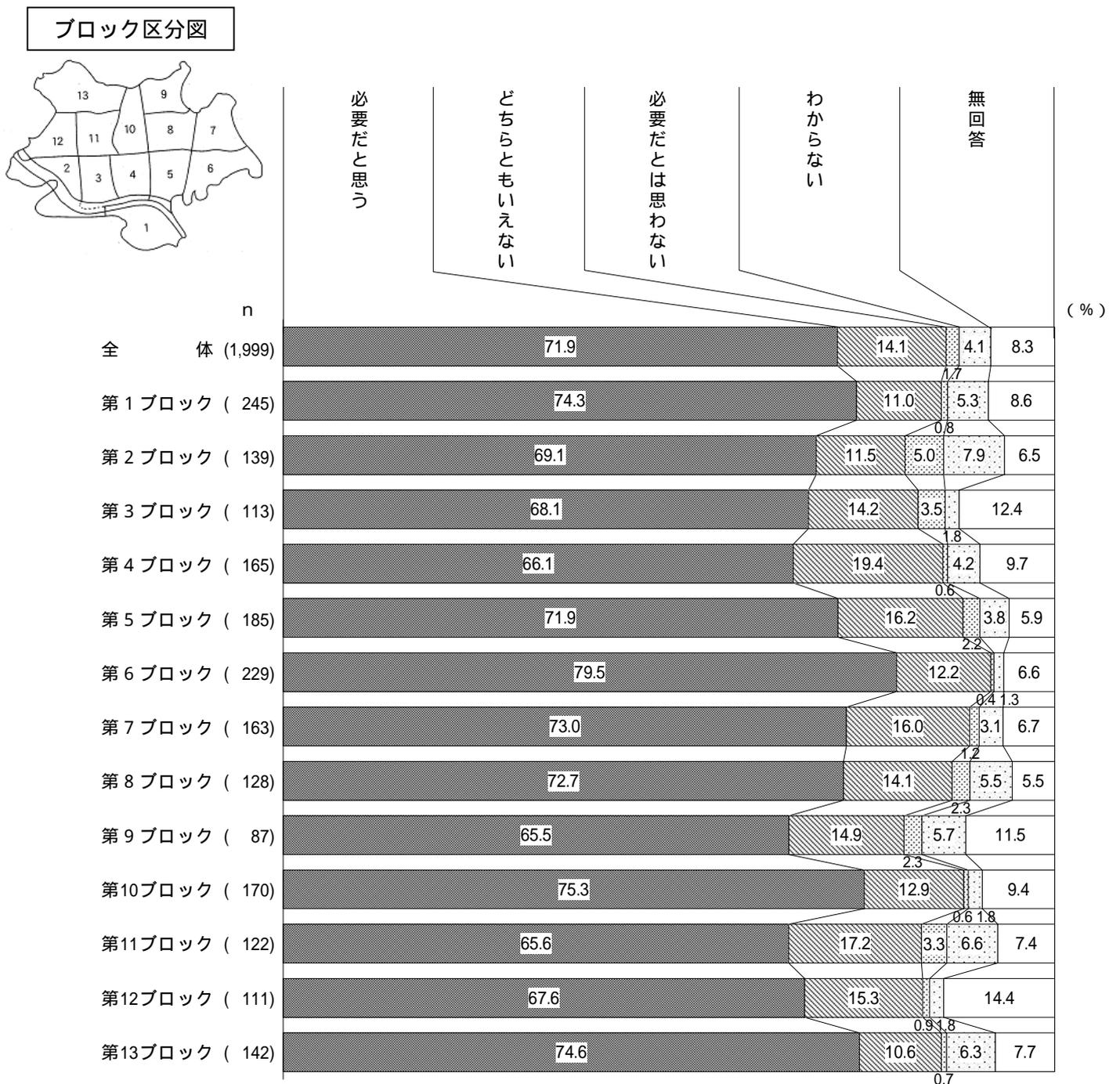


地域ブロック別でみると、「必要だと思う」は第6ブロック(79.5%)でほぼ8割と高くなっている。また、「どちらともいえない」は第4ブロック(19.4%)でほぼ2割と高くなっている。

(図3-4-3)

図3-4-3 エネルギーに対する考え - 地域ブロック別(イ)

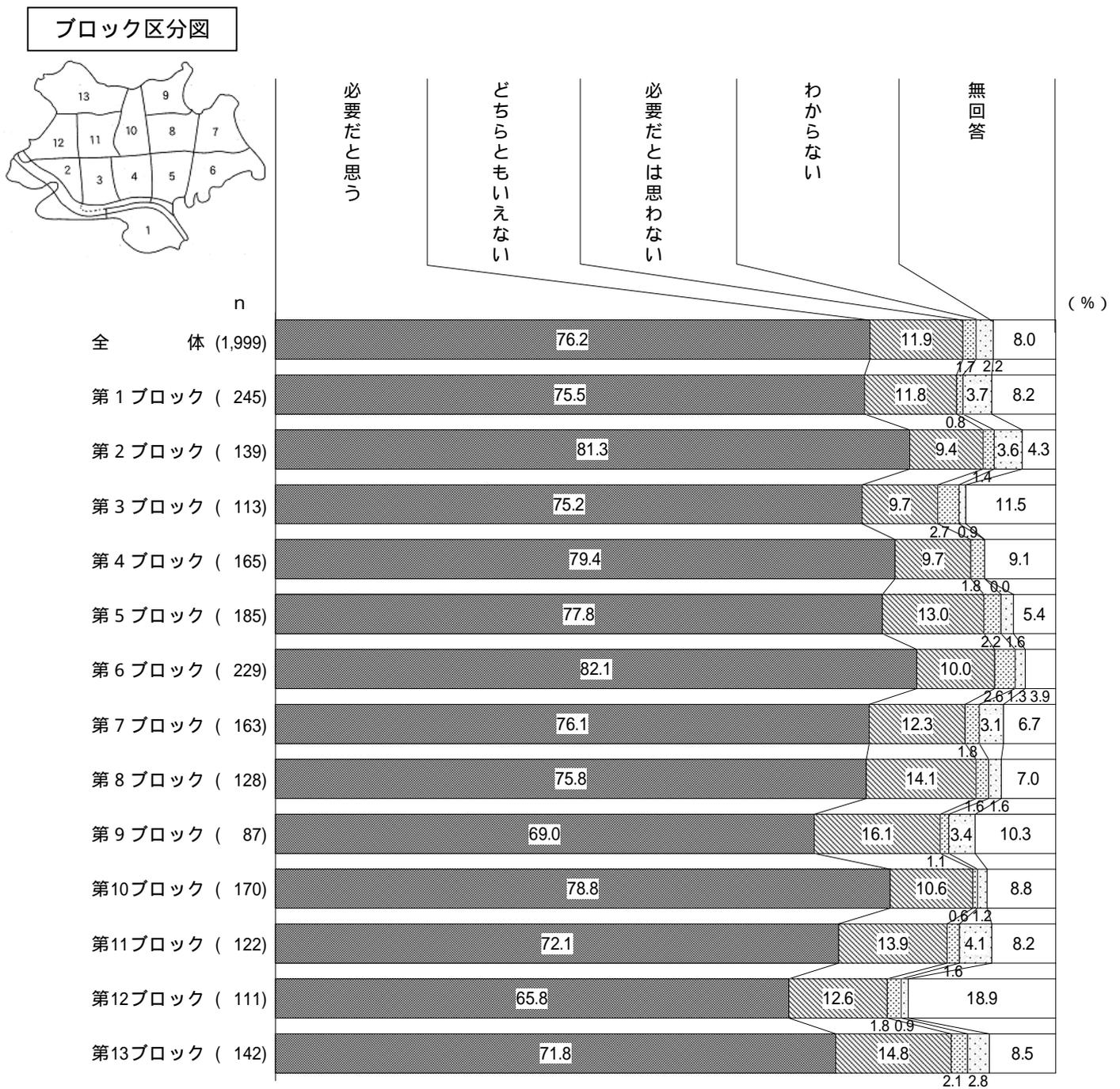
(イ) 石油や天然ガスなどの資源保護のため、省エネルギーに取り組むこと



地域ブロック別でみると、「必要だと思う」は第6ブロック(82.1%)と第2ブロック(81.3%)で8割を超え高くなっている。また、「どちらともいえない」は第9ブロック(16.1%)と第13ブロック(14.8%)で1割半ばと高くなっている。(図3-4-4)

図3-4-4 エネルギーに対する考え - 地域ブロック別(ウ)

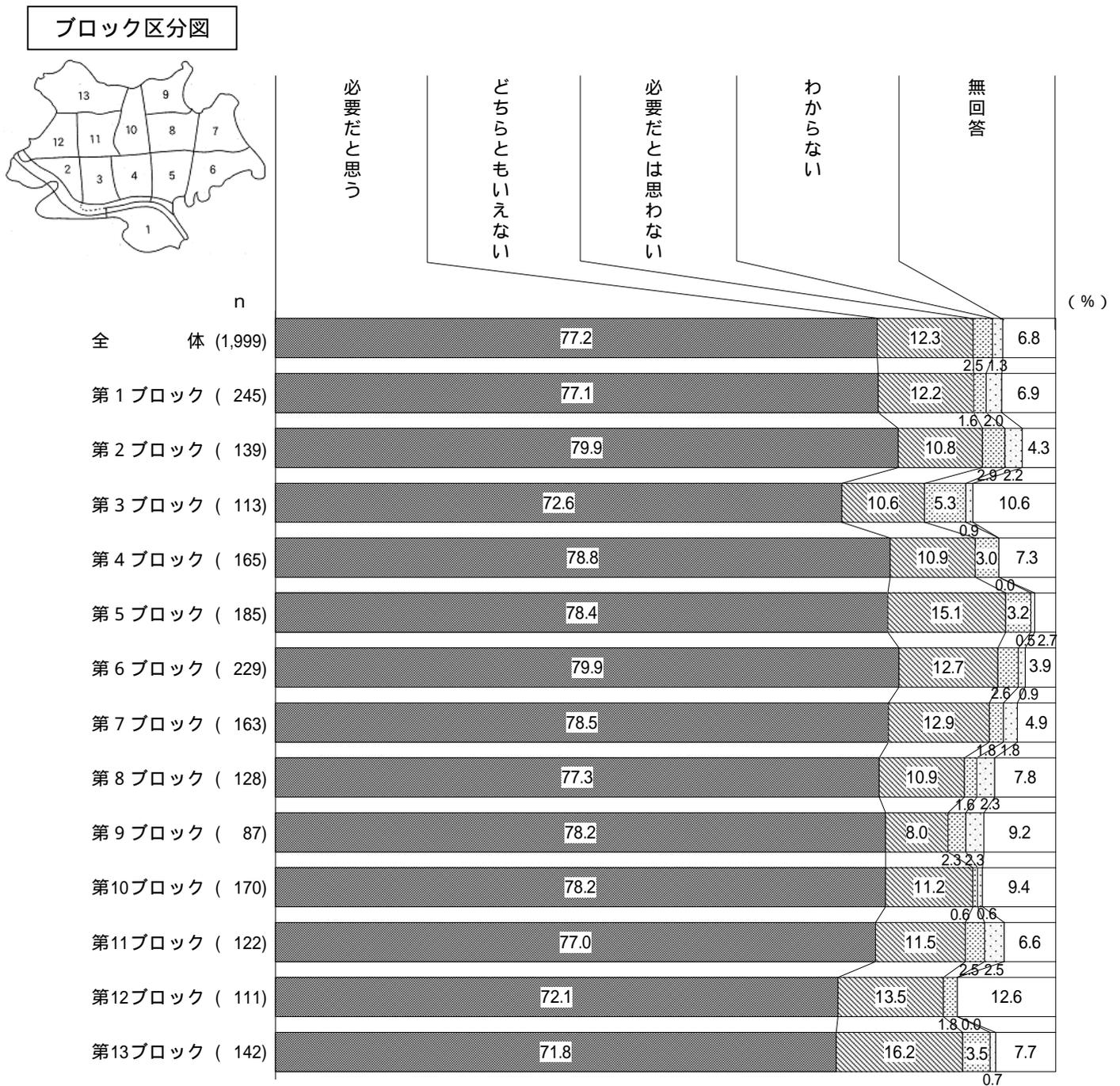
(ウ) 光熱水費の節約のため、省エネルギーに取り組むこと



地域ブロック別でみると、「必要だと思う」は第2ブロックと第6ブロック（ともに79.9%）でほぼ8割と高くなっている。また、「どちらともいえない」は第13ブロック（16.2%）と第5ブロック（15.1%）で1割半ばと高くなっている。（図3-4-5）

図3-4-5 エネルギーに対する考え - 地域ブロック別（エ）

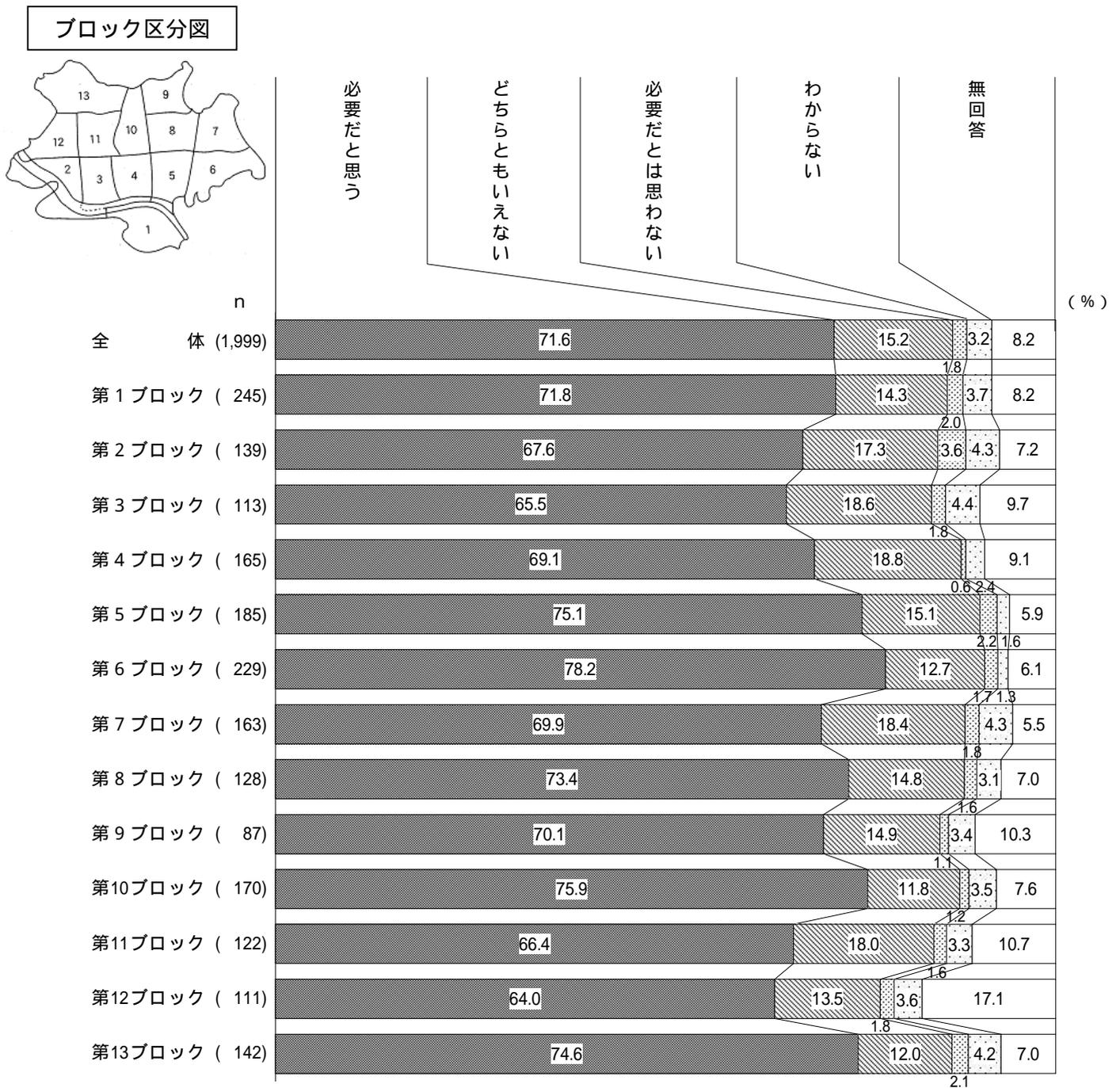
（エ）電力不足による停電を防ぐため、節電に取り組むこと



地域ブロック別でみると、「必要だと思う」は第6ブロック（78.2%）で8割近くと高くなっている。（図3-4-6）

図3-4-6 エネルギーに対する考え - 地域ブロック別（オ）

（オ）太陽光や太陽熱、風力などの自然エネルギーを活用すること

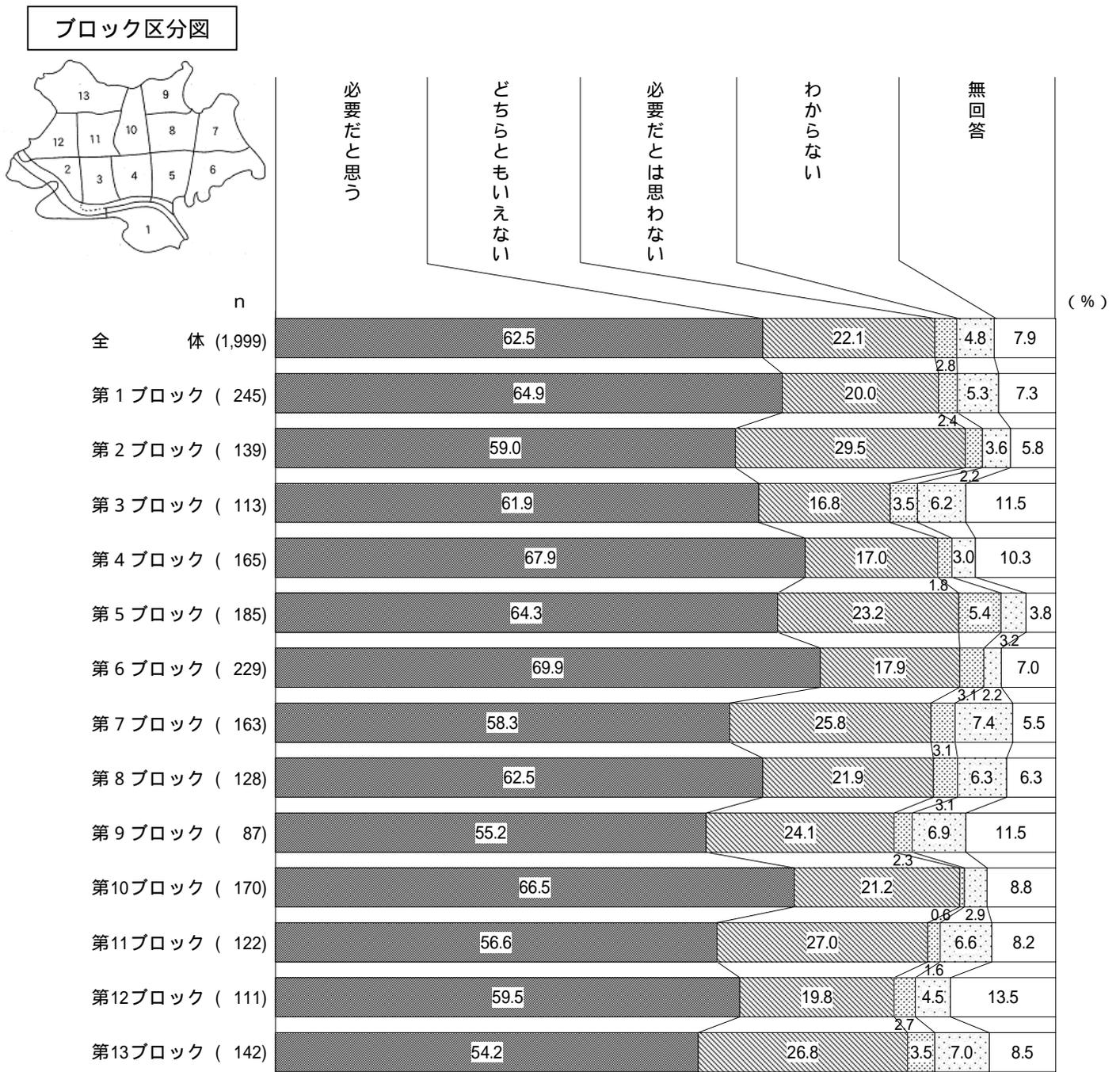


地域ブロック別でみると、「必要だと思う」は第6ブロック（69.9%）でほぼ7割と高くなっている。また、「どちらともいえない」は第2ブロック（29.5%）でほぼ3割と高くなっている。

（図3-4-7）

図3-4-7 エネルギーに対する考え - 地域ブロック別（カ）

（カ）自らの電気・ガス・ガソリンなどエネルギーの使用量を把握し、チェックすること

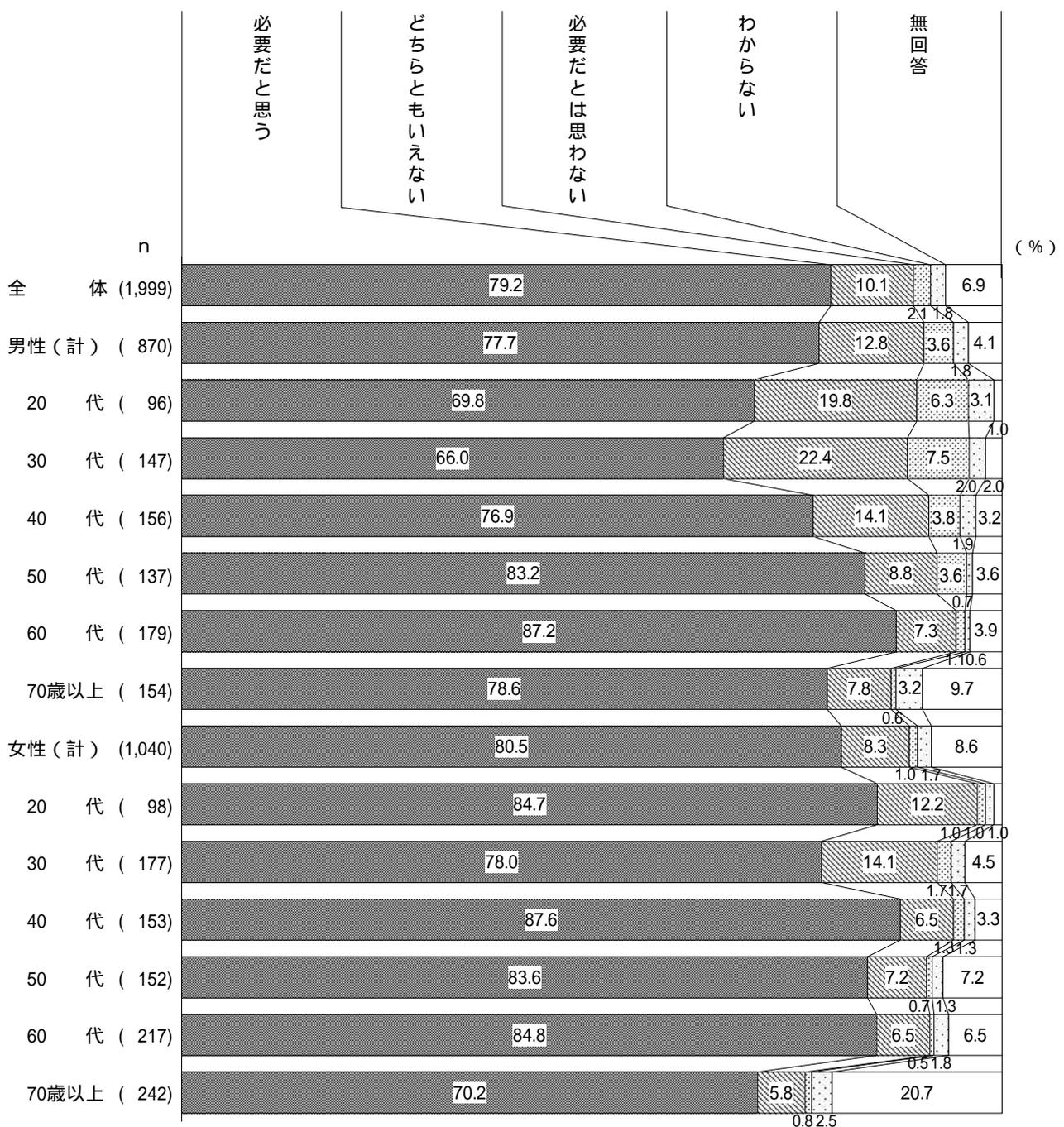


性別で見ると、男性で「どちらともいえない」(12.8%)が女性(8.3%)より4.5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「必要だと思う」は女性40代(87.6%)と男性60代(87.2%)で9割近くと高くなっている。また、「どちらともいえない」は男性30代(22.4%)で2割を超え高くなっている。(図3-4-8)

図3-4-8 エネルギーに対する考え - 性別、性・年代別(ア)

(ア) 地球の温暖化を防ぐため、省エネルギーに取り組むこと

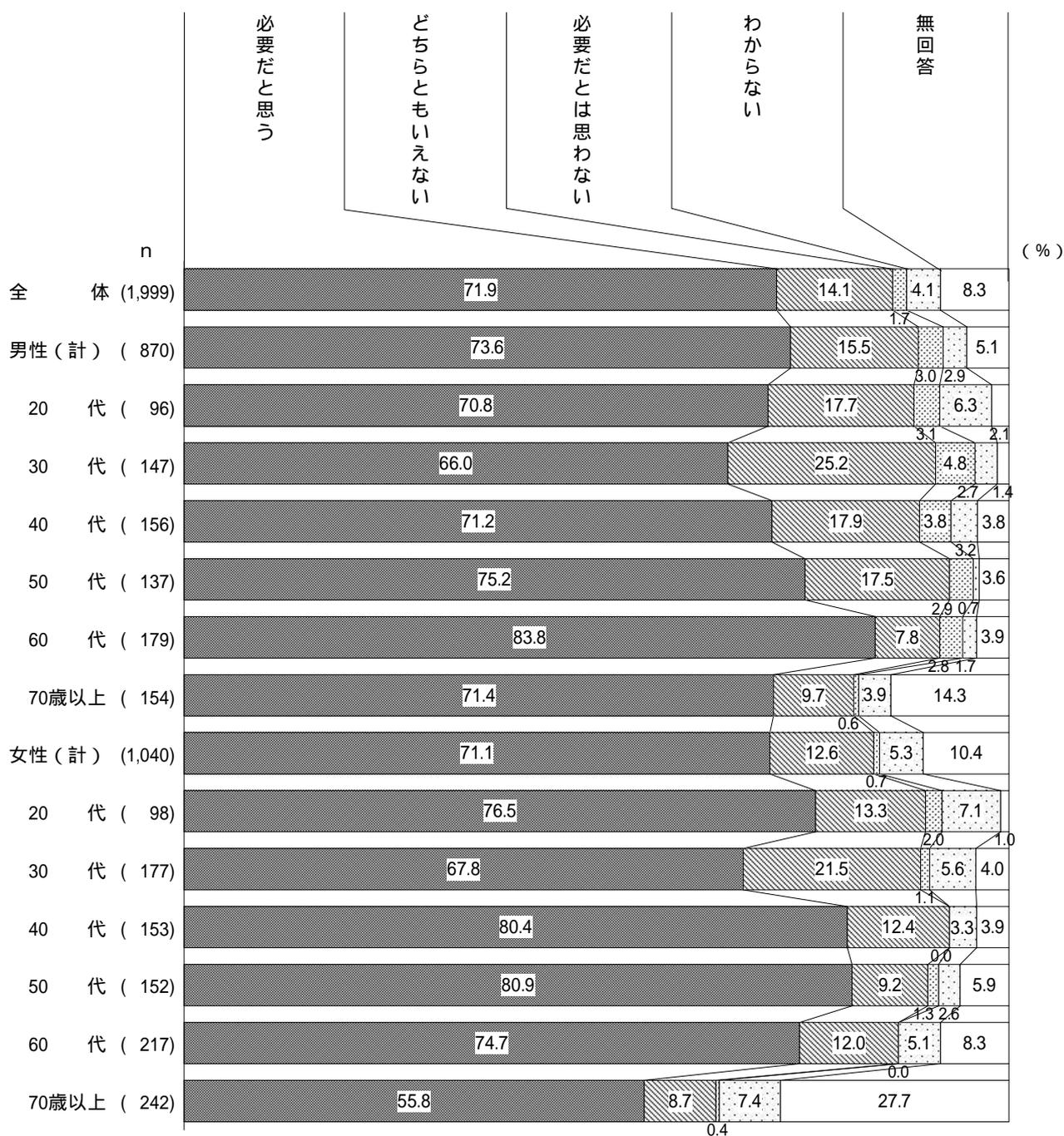


性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別で見ると、「必要だと思う」は男性60代（83.8%）、女性50代（80.9%）、女性40代（80.4%）で8割を超え高くなっている。また、「どちらともいえない」は男性30代（25.2%）で2割半ばと高くなっている。（図3 - 4 - 9）

図3 - 4 - 9 エネルギーに対する考え - 性別、性・年代別（イ）

（イ）石油や天然ガスなどの資源保護のため、省エネルギーに取り組むこと

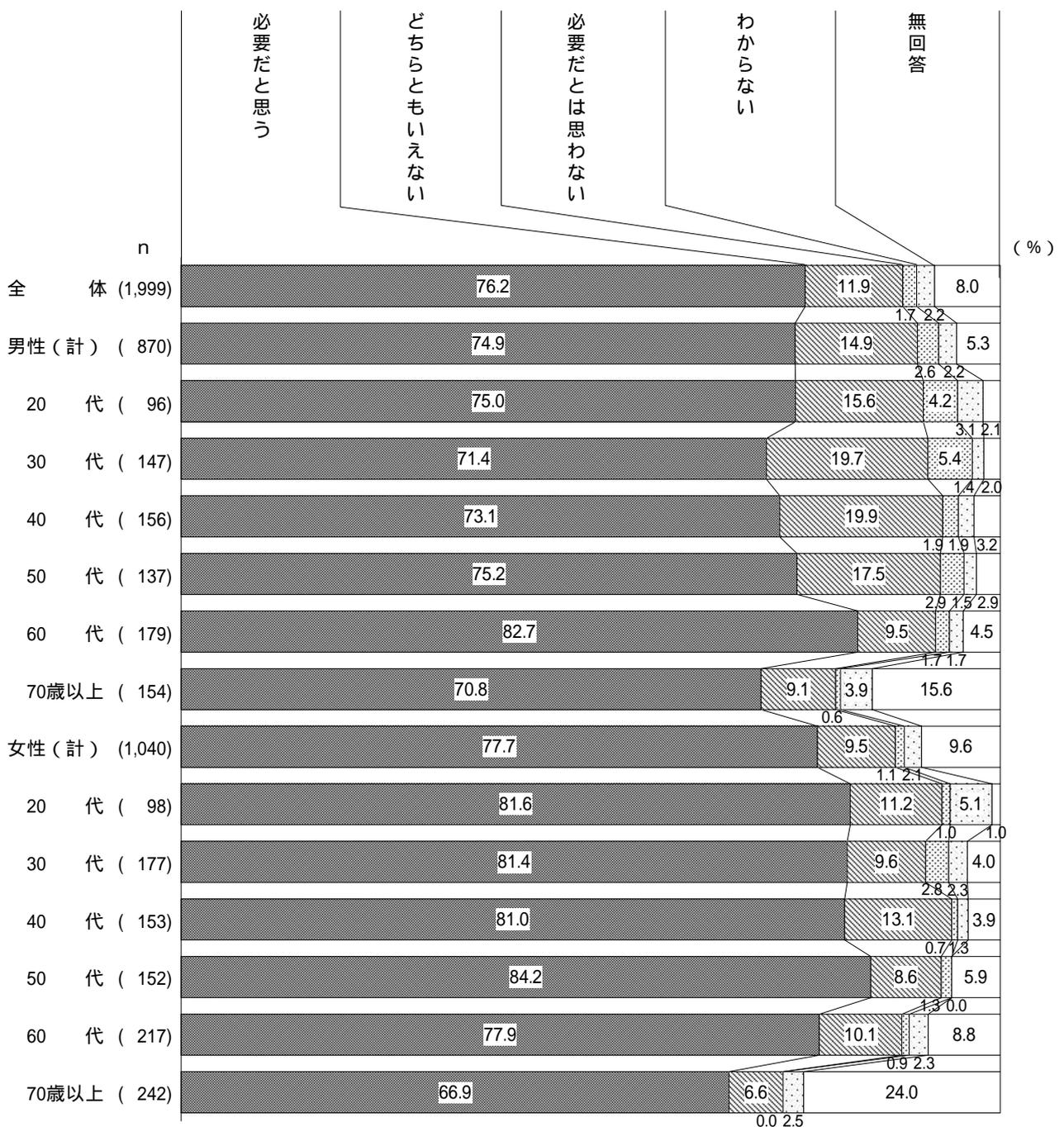


性別で見ると、男性で「どちらともいえない」(14.9%)が女性(9.5%)より5.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「必要だと思う」は女性50代(84.2%)で8割半ばと高くなっている。
また、「どちらともいえない」は男性40代(19.9%)、30代(19.7%)ではほぼ2割と高くなっている。(図3-4-10)

図3-4-10 エネルギーに対する考え - 性別、性・年代別(ウ)

(ウ) 光熱水費の節約のため、省エネルギーに取り組むこと



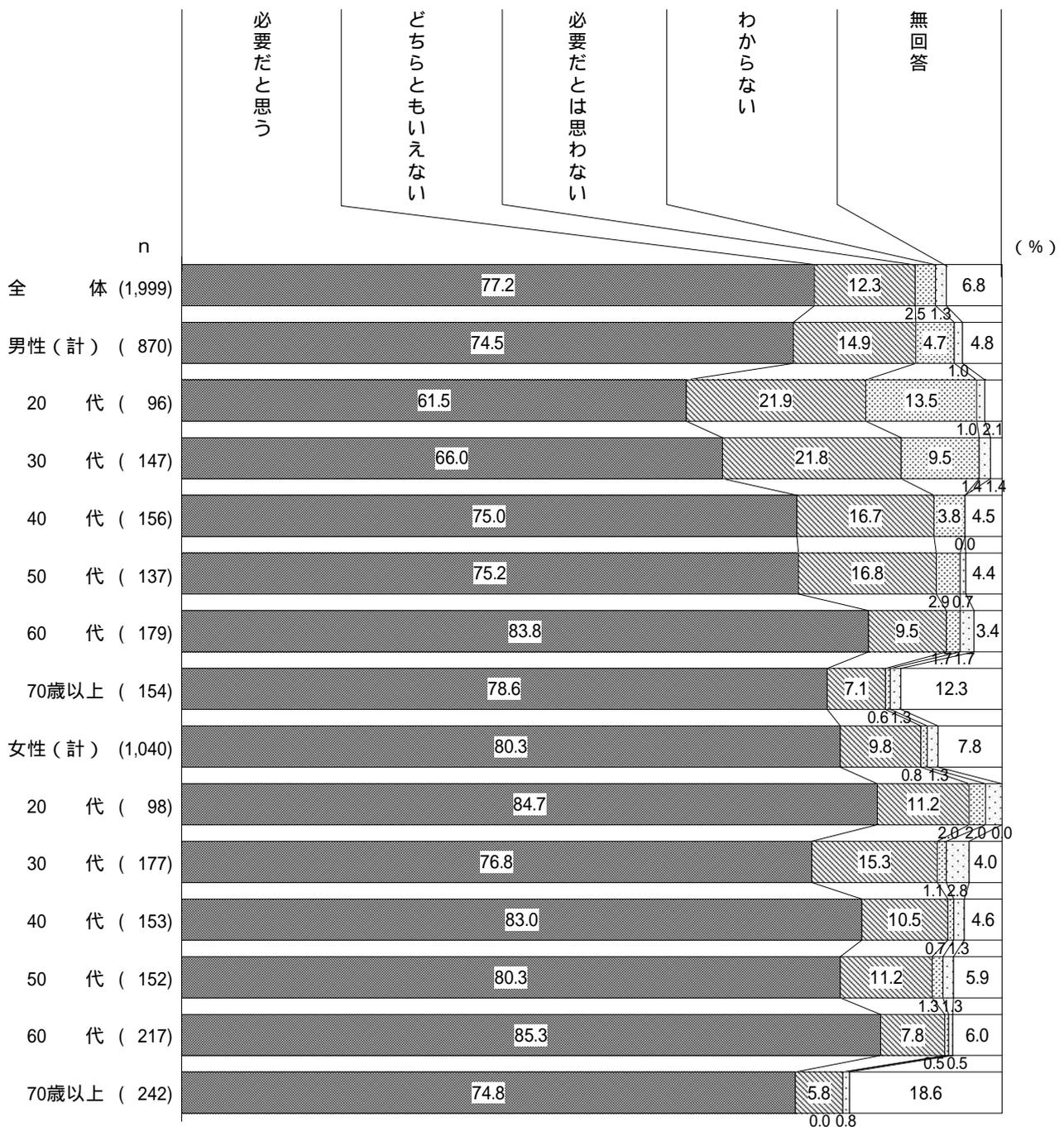
性別で見ると、女性で「必要だと思う」(80.3%)が男性(74.5%)より5.8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「必要だと思う」は女性60代(85.3%)、20代(84.7%)で8割半ばと高くなっている。また、「どちらともいえない」は男性20代(21.9%)、30代(21.8%)で2割を超え、「必要だとは思わない」は男性20代(13.5%)で1割を超え高くなっている。

(図3 - 4 - 11)

図3 - 4 - 11 エネルギーに対する考え - 性別、性・年代別(エ)

(エ) 電力不足による停電を防ぐため、節電に取り組むこと



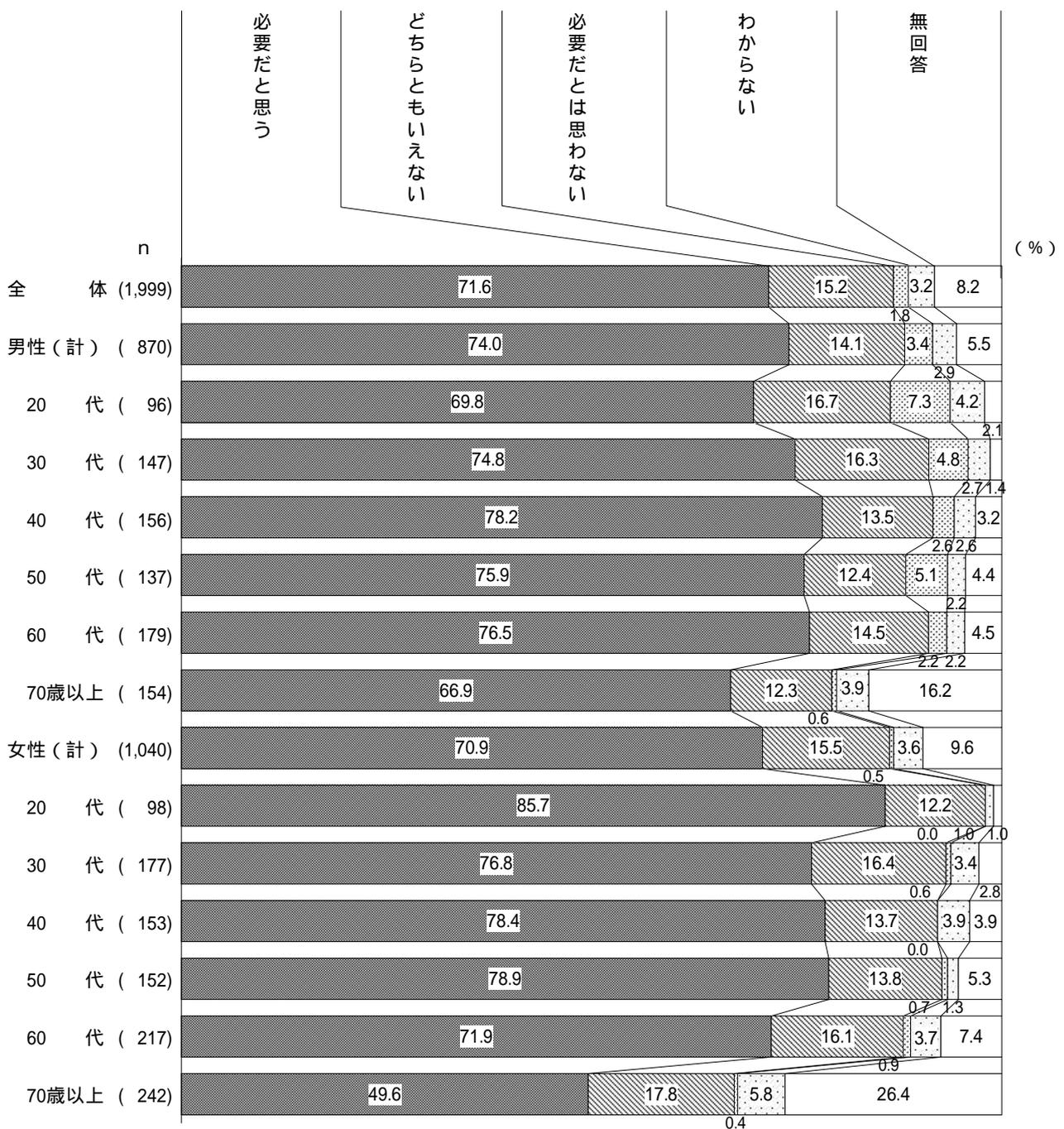
性別で見ると、男性で「必要だと思う」(74.0%)が女性(70.9%)より3.1ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「必要だと思う」は女性20代(85.7%)で8割半ばと高くなっている。

(図3-4-12)

図3-4-12 エネルギーに対する考え - 性別、性・年代別(オ)

(オ) 太陽光や太陽熱、風力などの自然エネルギーを活用すること



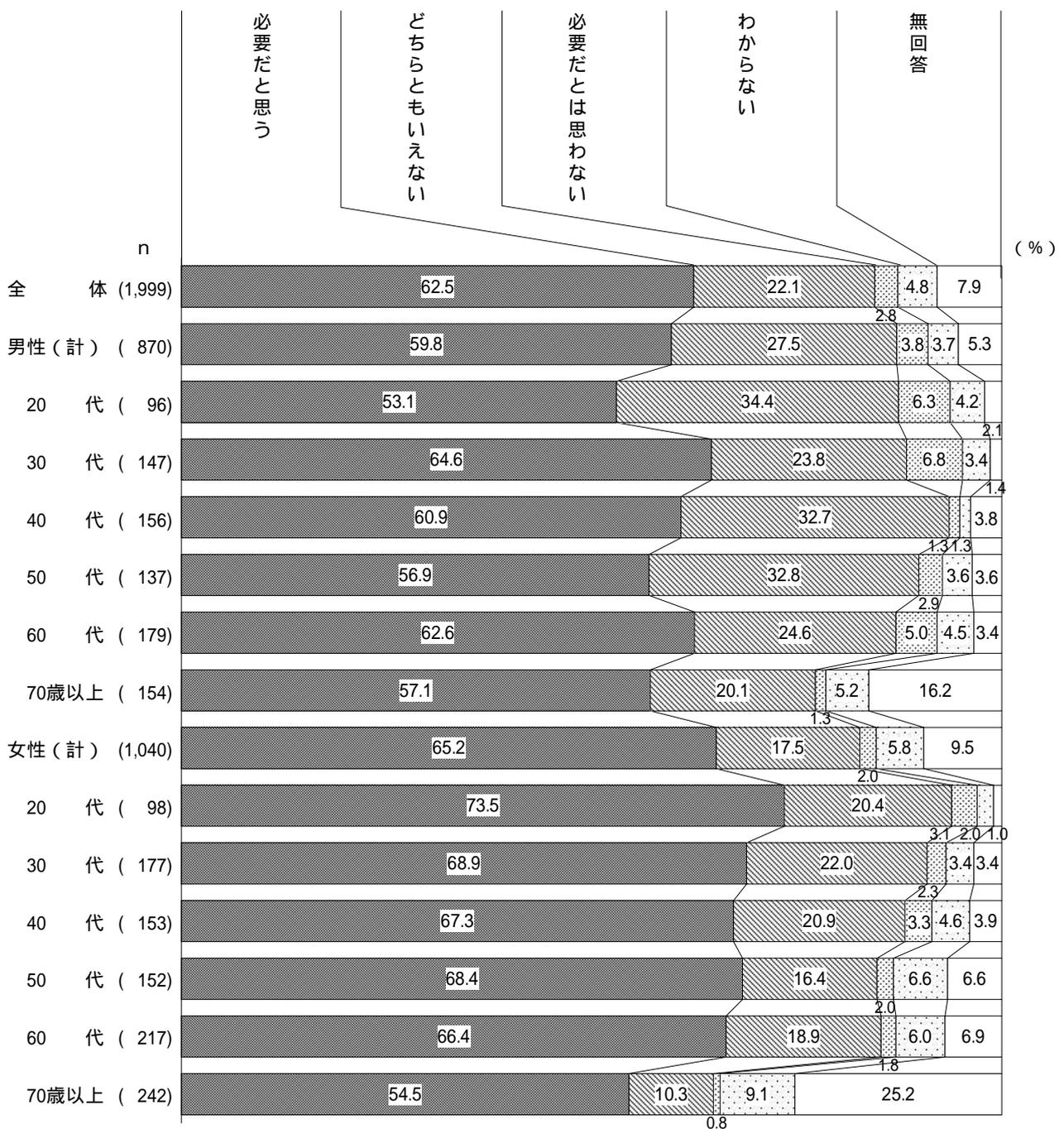
性別で見ると、女性で「必要だと思う」(65.2%)が男性(59.8%)より5.4ポイント高くなっている。一方、男性で「どちらともいえない」(27.5%)が女性(17.5%)より10.0ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「必要だと思う」は女性20代(73.5%)で7割を超え高くなっている。また、「どちらともいえない」は男性20代(34.4%)で3割半ばと高くなっている。

(図3 - 4 - 13)

図3 - 4 - 13 エネルギーに対する考え - 性別、性・年代別(カ)

(カ) 自らの電気・ガス・ガソリンなどエネルギーの使用量を把握し、チェックすること



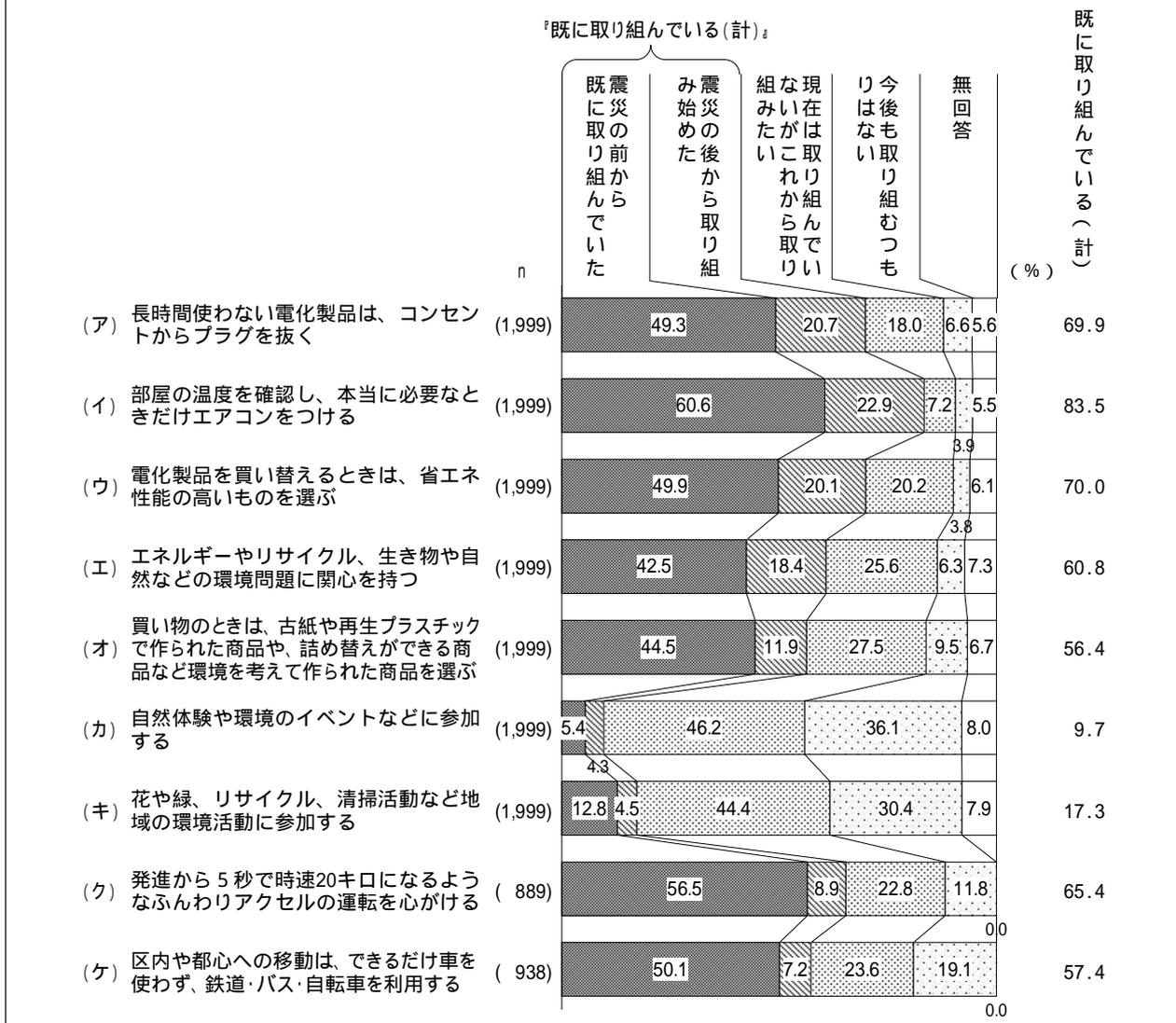
(5) エネルギー使用についての現在の状況

【部屋の温度を確認し、本当に必要なときだけエアコンをつける】を『既に取り組んでいる』人が8割を超える

問14 次のことがらについて、あなたの現在の状況にあてはまるものお選びください。

() は各項目とも1つだけ

図3-5-1 エネルギー使用についての現在の状況



エネルギー使用について、現在の状況を聞いたところ、「震災の前から既に取り組んでいた」と「震災の後から取り組み始めた」を合わせた『既に取り組んでいる (計)』は、【部屋の温度を確認し、本当に必要なときだけエアコンをつける】(83.5%)が8割を超え最も高く、次いで【電化製品を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選ぶ】(70.0%)と【長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜く】(69.9%)が7割と高くなっている。

また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は、【自然体験や環境のイベントなどに参加する】(46.2%)と【花や緑、リサイクル、清掃活動など地域の環境活動に参加する】(44.4%)が4割半ばと高く、「今後も取り組むつもりはない」は、【自然体験や環境のイベントなどに参加する】(36.1%)が3割半ばと高くなっている。(図3-5-1)

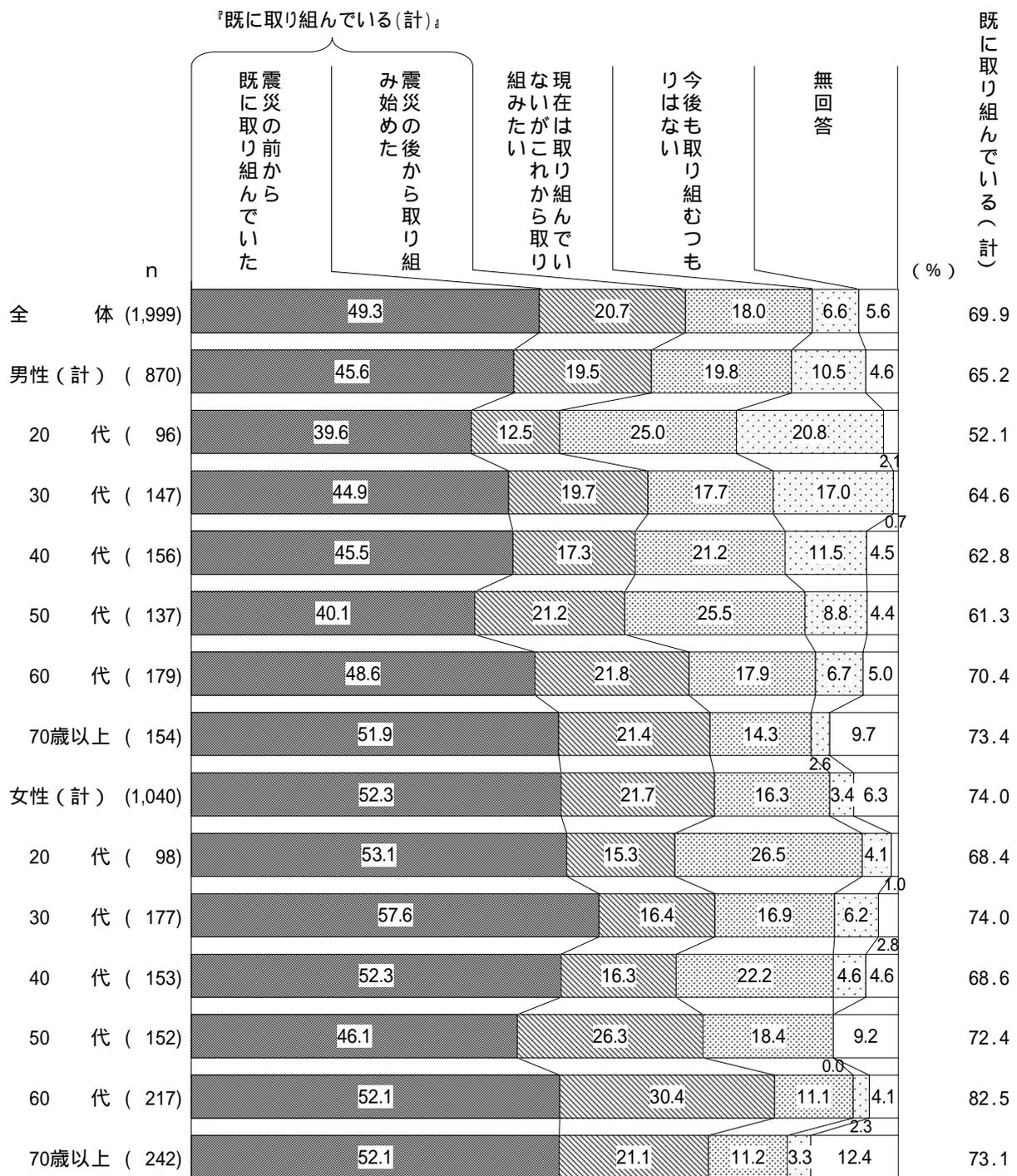
性別で見ると、女性で『既に取り組んでいる（計）』（74.0%）が男性（65.2%）より8.8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる（計）』は女性60代（82.5%）で8割を超え高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は女性20代（26.5%）で最も高く、「今後も取り組むつもりはない」は男性20代（20.8%）で2割と高くなっている。

（図3 - 5 - 2）

図3 - 5 - 2 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別（ア）

（ア）長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜く

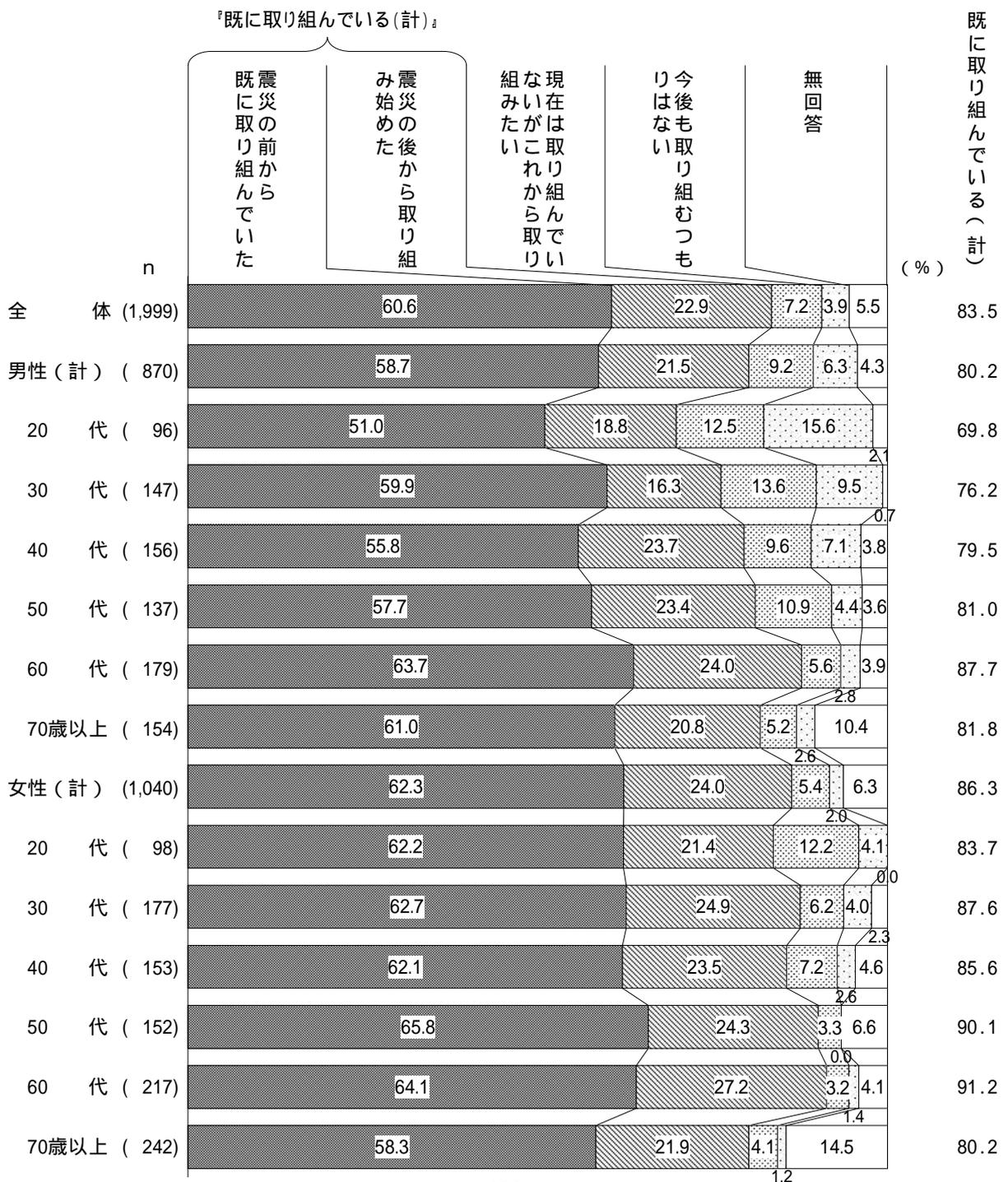


性別で見ると、女性で『既に取り組んでいる（計）』（86.3%）が男性（80.2%）より6.1ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる（計）』は女性60代（91.2%）、50代（90.1%）で9割を超え高くなっている。また、「今後も取り組むつもりはない」は男性20代（15.6%）で1割半ばと高くなっている。（図3-5-3）

図3-5-3 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別（イ）

（イ）部屋の温度を確認し、本当に必要なときだけエアコンをつける



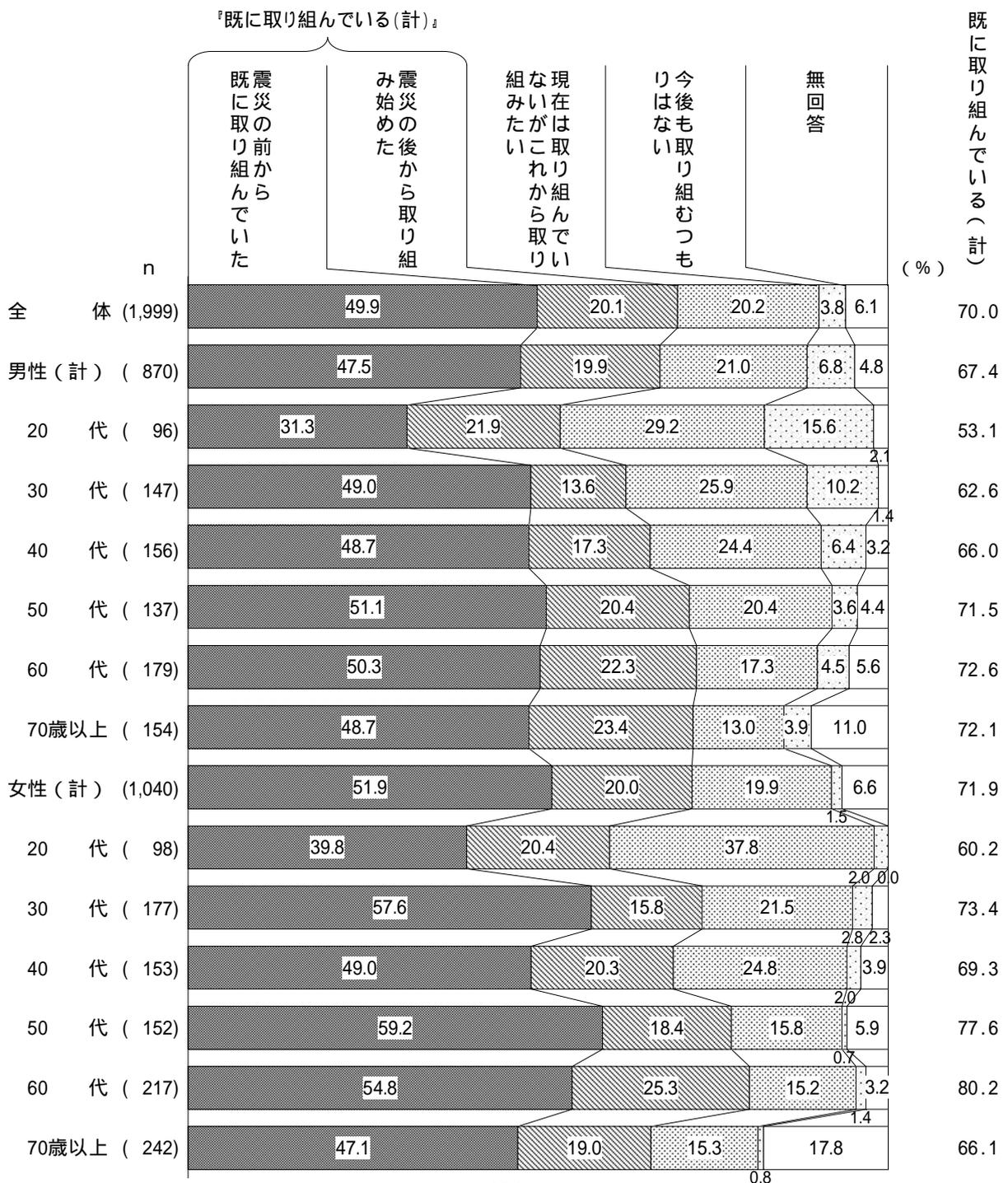
性別で見ると、女性で『既に取り組んでいる(計)』(71.9%)が男性(67.4%)より4.5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる(計)』は女性60代(80.2%)で8割と高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は女性20代(37.8%)で4割近く、「今後も取り組むつもりはない」は男性20代(15.6%)で1割半ばと高くなっている。

(図3-5-4)

図3-5-4 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別(ウ)

(ウ) 電化製品を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選ぶ

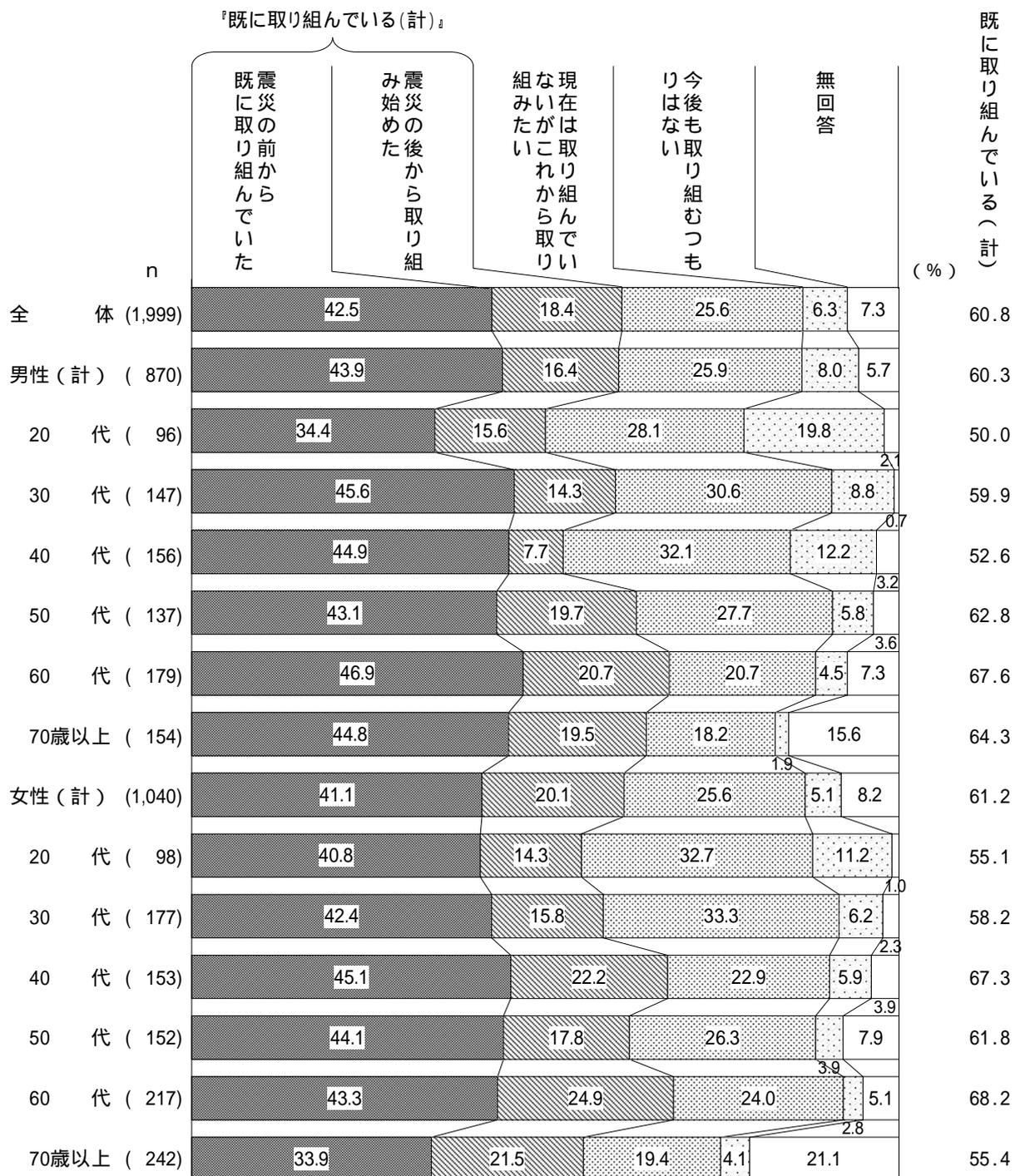


性別で見ると、女性で「震災の後から取り組み始めた」（20.1%）が男性（16.4%）より3.7ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる（計）』は女性60代（68.2%）と40代（67.3%）、男性60代（67.6%）で7割近くと高くなっている。また、「今後も取り組むつもりはない」は男性20代（19.8%）でほぼ2割と高くなっている。（図3-5-5）

図3-5-5 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別（エ）

（エ）エネルギーやリサイクル、生き物や自然などの環境問題に関心を持つ

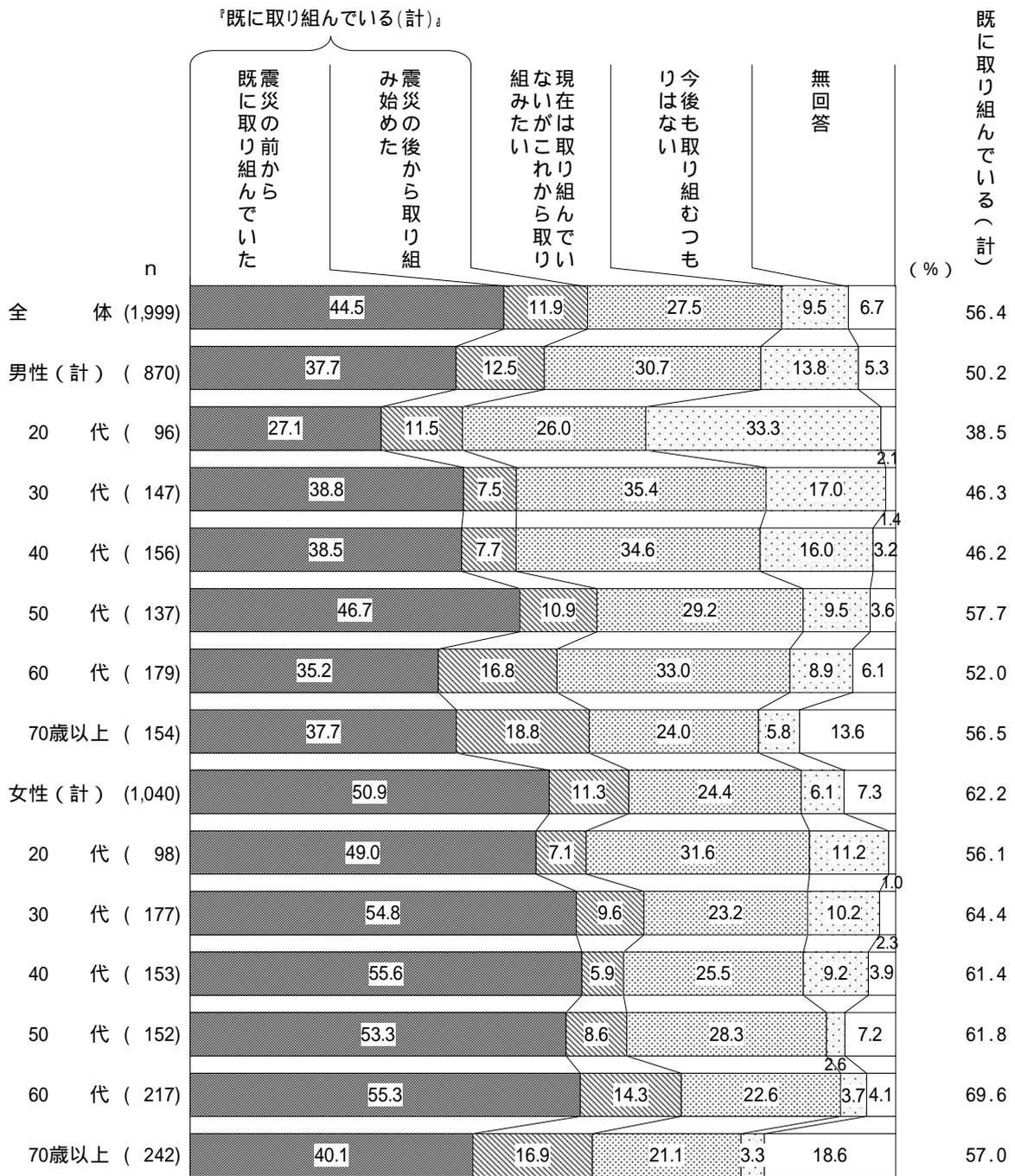


性別で見ると、女性で『既に取り組んでいる（計）』（62.2%）が男性（50.2%）より12.0ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる（計）』は女性60代（69.6%）でほぼ7割と高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は男性30代（35.4%）、40代（34.6%）で3割半ば、「今後も取り組むつもりはない」は男性20代（33.3%）で3割を超え高くなっている。（図3 - 5 - 6）

図3 - 5 - 6 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別（オ）

（オ）買い物のときは、古紙や再生プラスチックで作られた商品や、詰め替えができる商品など環境を考えて作られた商品を選ぶ



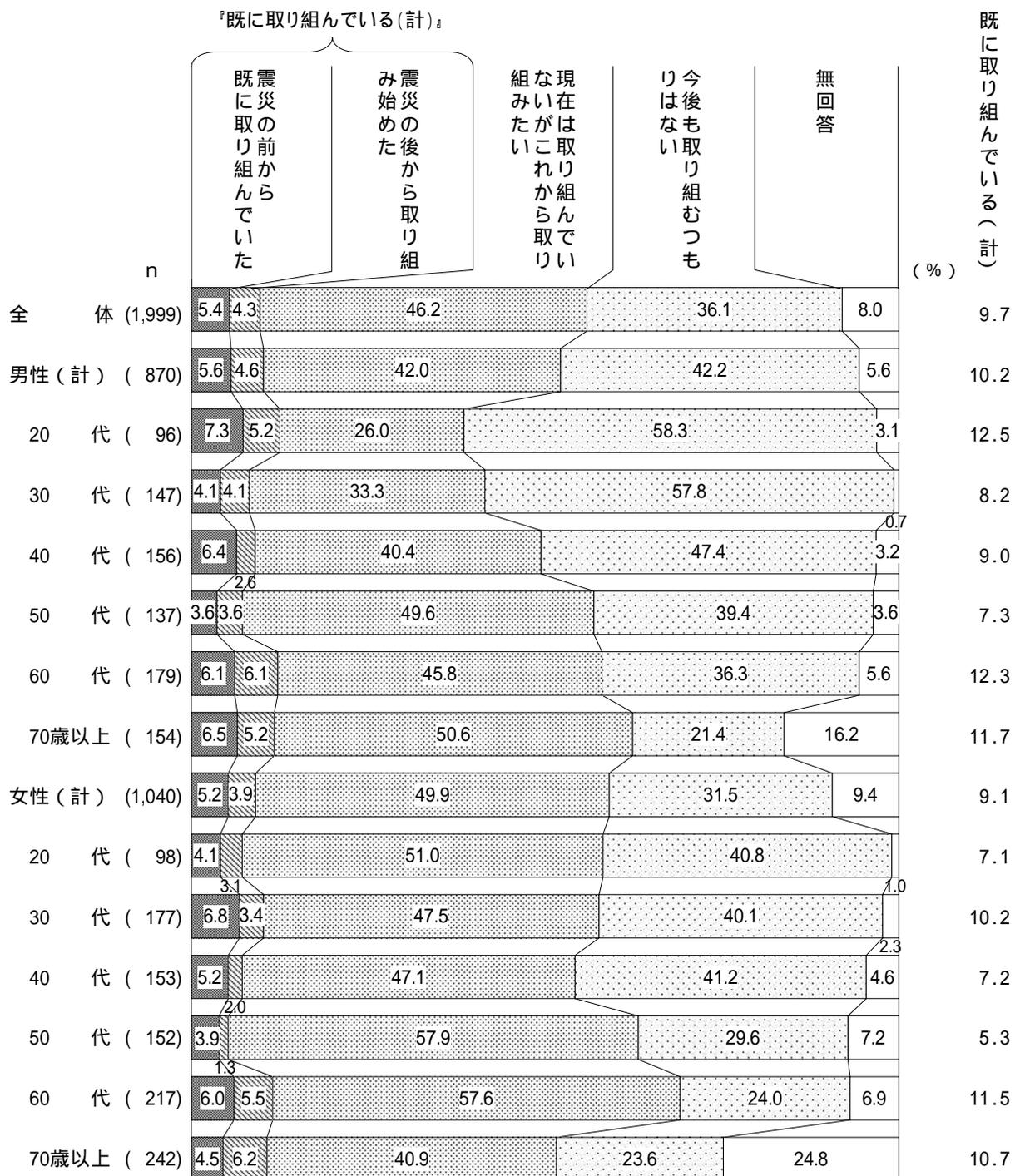
性別で見ると、女性で「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」(49.9%)が男性(42.0%)より7.9ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は女性50代(57.9%)、60代(57.6%)で6割近く、「今後も取り組むつもりはない」は男性では低い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、男性20代(58.3%)、30代(57.8%)で6割近くと高くなっている。

(図3-5-7)

図3-5-7 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別(カ)

(カ) 自然体験や環境のイベントなどに参加する

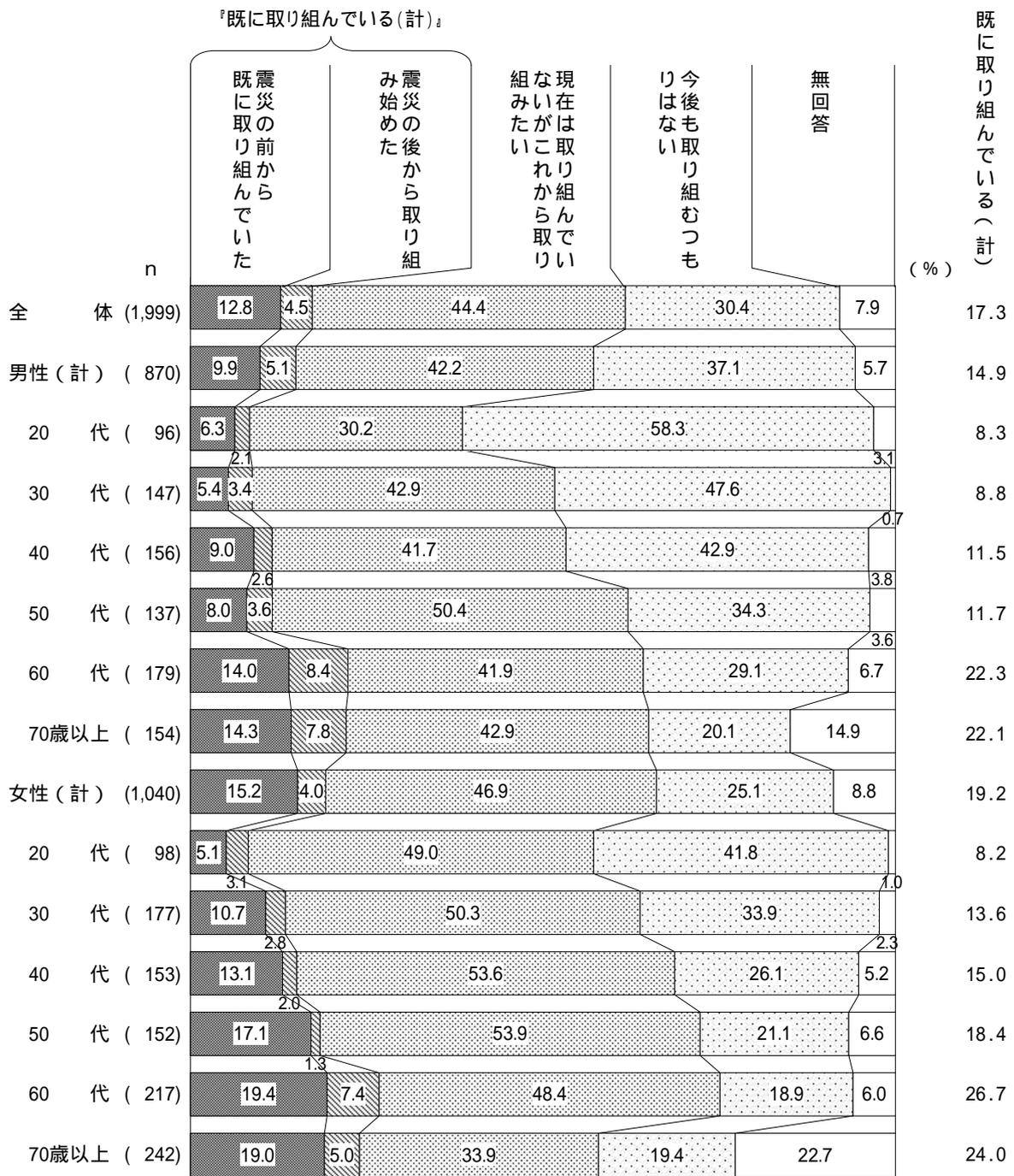


性別で見ると、女性で『既に取り組んでいる（計）』（19.2%）が男性（14.9%）より4.3ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる（計）』は女性60代（26.7%）で2割半ばと高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は女性50代（53.9%）、40代（53.6%）、30代（50.3%）、男性50代（50.4%）で5割を超え、「今後も取り組むつもりはない」は男性では低い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、特に男性20代（58.3%）で6割近くと高くなっている。（図3-5-8）

図3-5-8 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別（キ）

（キ）花や緑、リサイクル、清掃活動など地域の環境活動に参加する

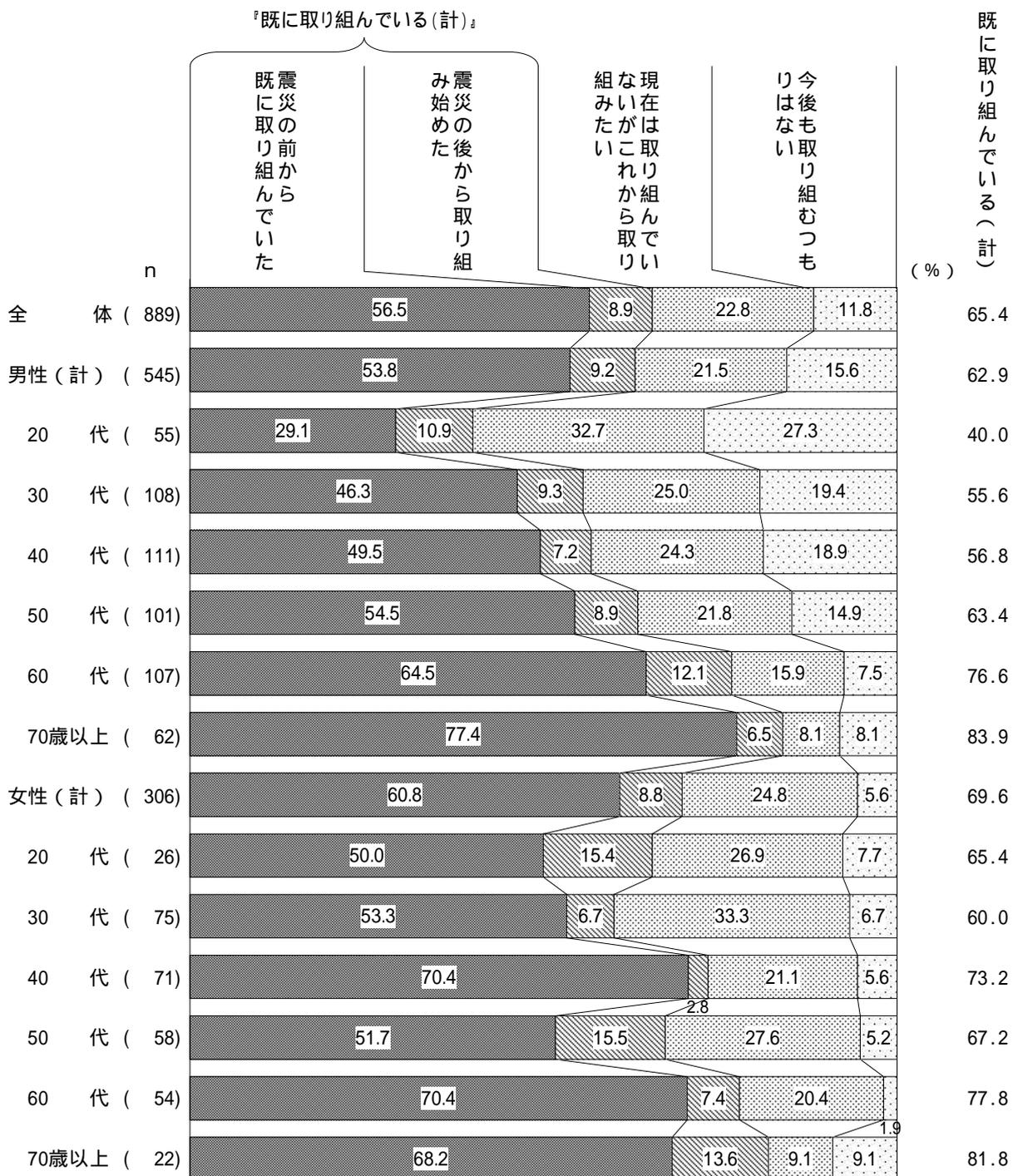


性別で見ると、女性で『既に取り組んでいる（計）』（69.6%）が男性（62.9%）より 6.7 ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる（計）』は男女とも70歳以上（男性83.9%・女性81.8%）で8割を超え高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は女性30代（33.3%）と男性20代（32.7%）で3割を超え、「今後も取り組むつもりはない」は男性20代（27.3%）で3割近くと高くなっている。（図3 - 5 - 9）

図3 - 5 - 9 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別（ク）

（ク）発進から5秒で時速20キロになるようなふんわりアクセルの運転を心がける

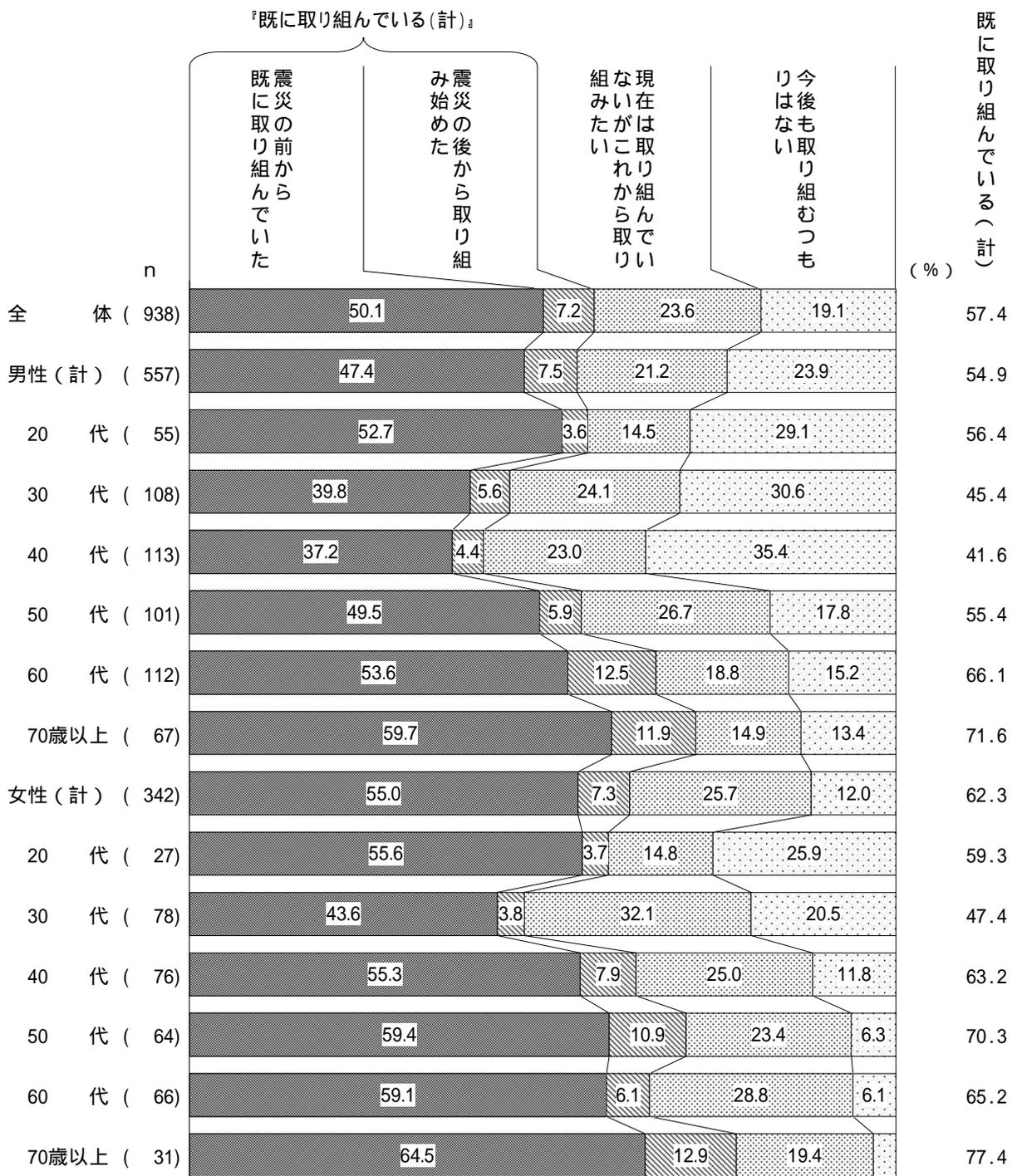


性別で見ると、女性で『既に取り組んでいる（計）』（62.3%）が男性（54.9%）より7.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『既に取り組んでいる（計）』は女性70歳以上（77.4%）で8割近くと高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は女性30代（32.1%）で3割を超え、「今後も取り組むつもりはない」は男性40代（35.4%）で3割半ばと高くなっている。（図3 - 5 - 10）

図3 - 5 - 10 エネルギー使用についての現在の状況 - 性別、性・年代別（ケ）

（ケ）区内や都心への移動は、できるだけ車を使わず、鉄道・バス・自転車を利用する

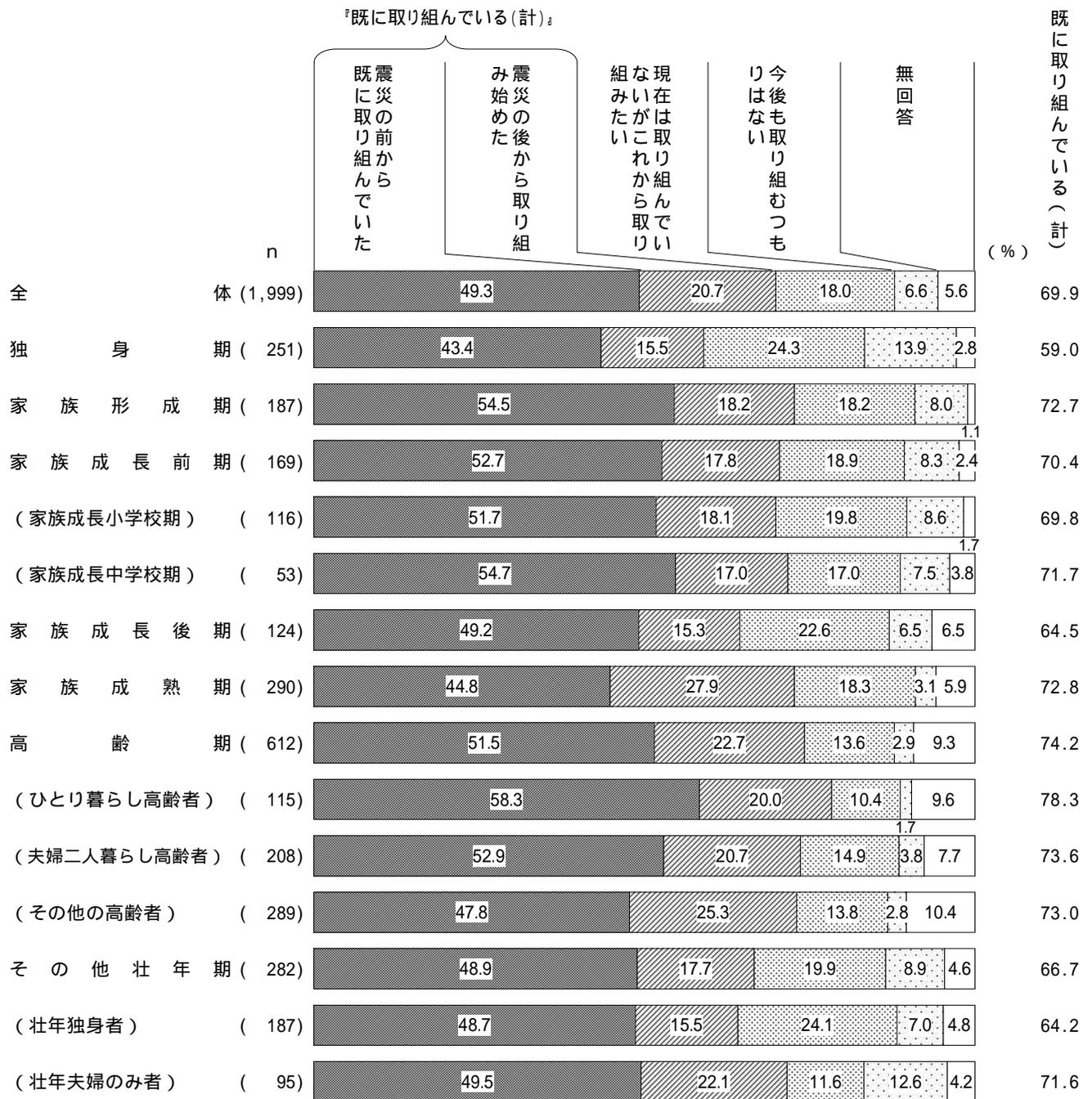


ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は高齢期(74.2%)で7割半ばと高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は独身期(24.3%)で2割半ば、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(13.9%)で1割を超え高くなっている。

(図3-5-11)

図3-5-11 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(ア)

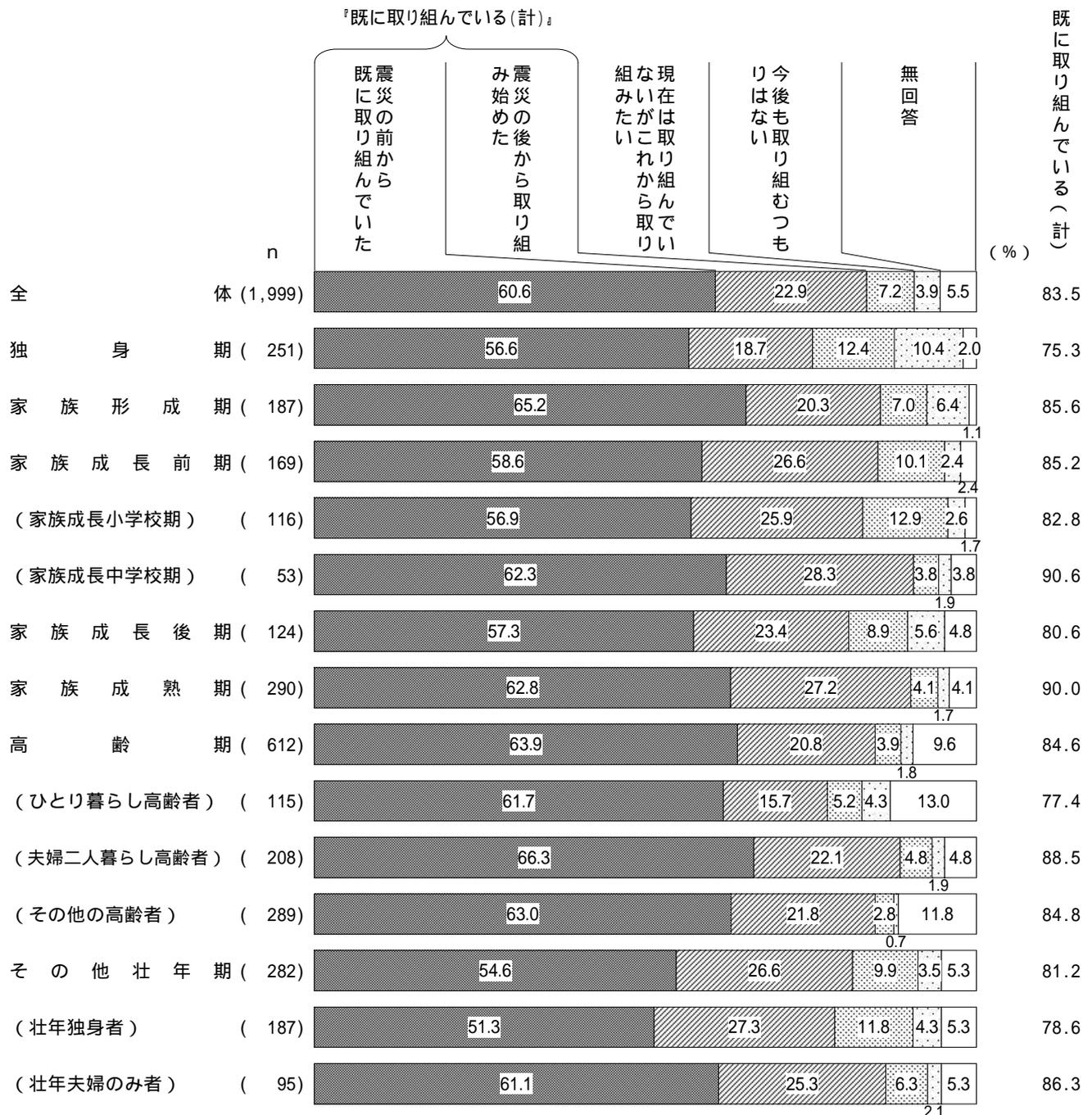
(ア) 長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜く



ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は家族成熟期(90.0%)で9割と高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は独身期(12.4%)、家族成長前期(10.1%)で1割を超え高く、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(10.4%)で1割と高くなっている。(図3-5-12)

図3-5-12 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(イ)

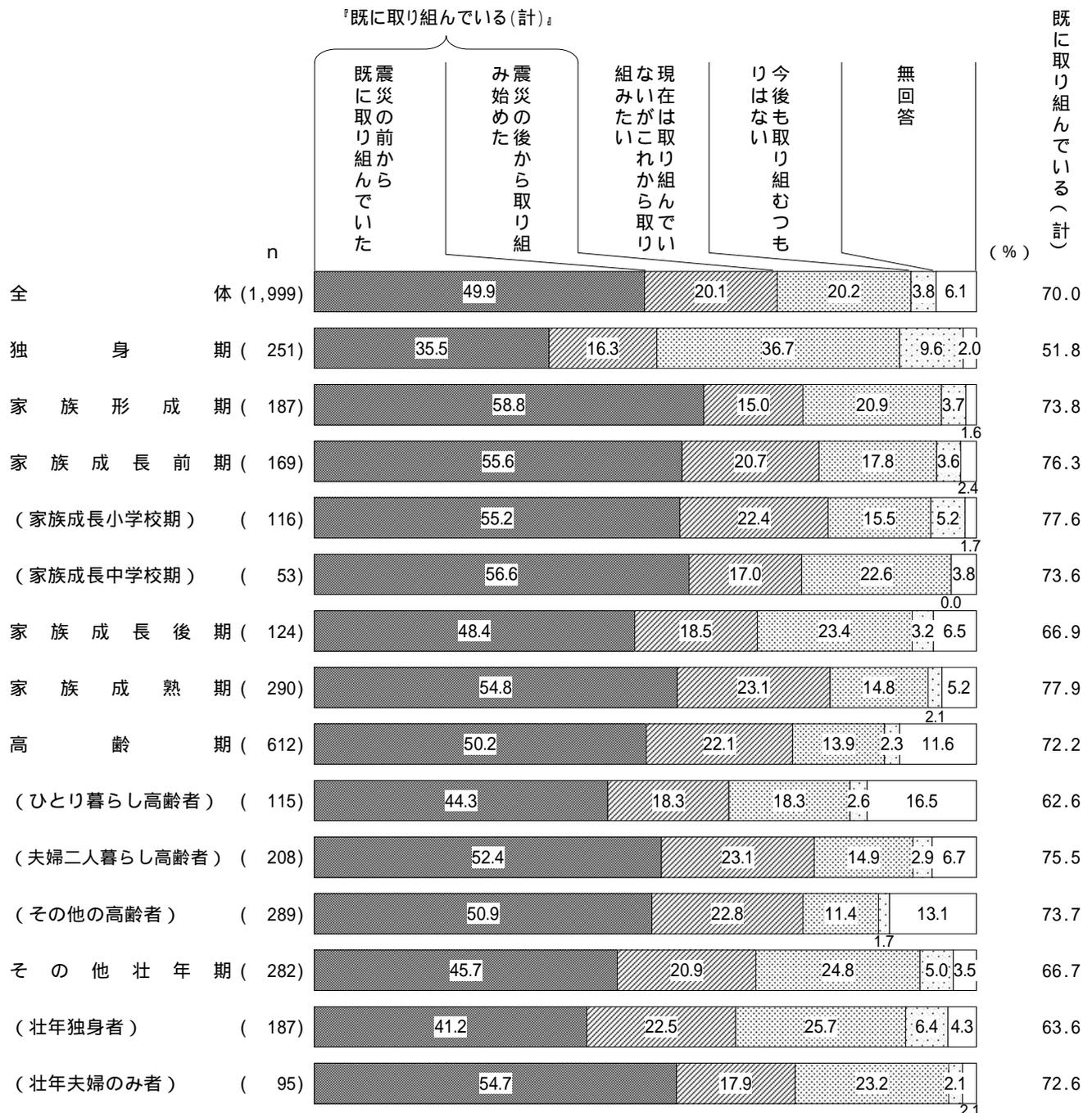
(イ) 部屋の温度を確認し、本当に必要なときだけエアコンをつける



ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は家族成熟期(77.9%)で8割近くと高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は独身期(36.7%)で3割半ば、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(9.6%)でほぼ1割と高くなっている。(図3-5-13)

図3-5-13 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(ウ)

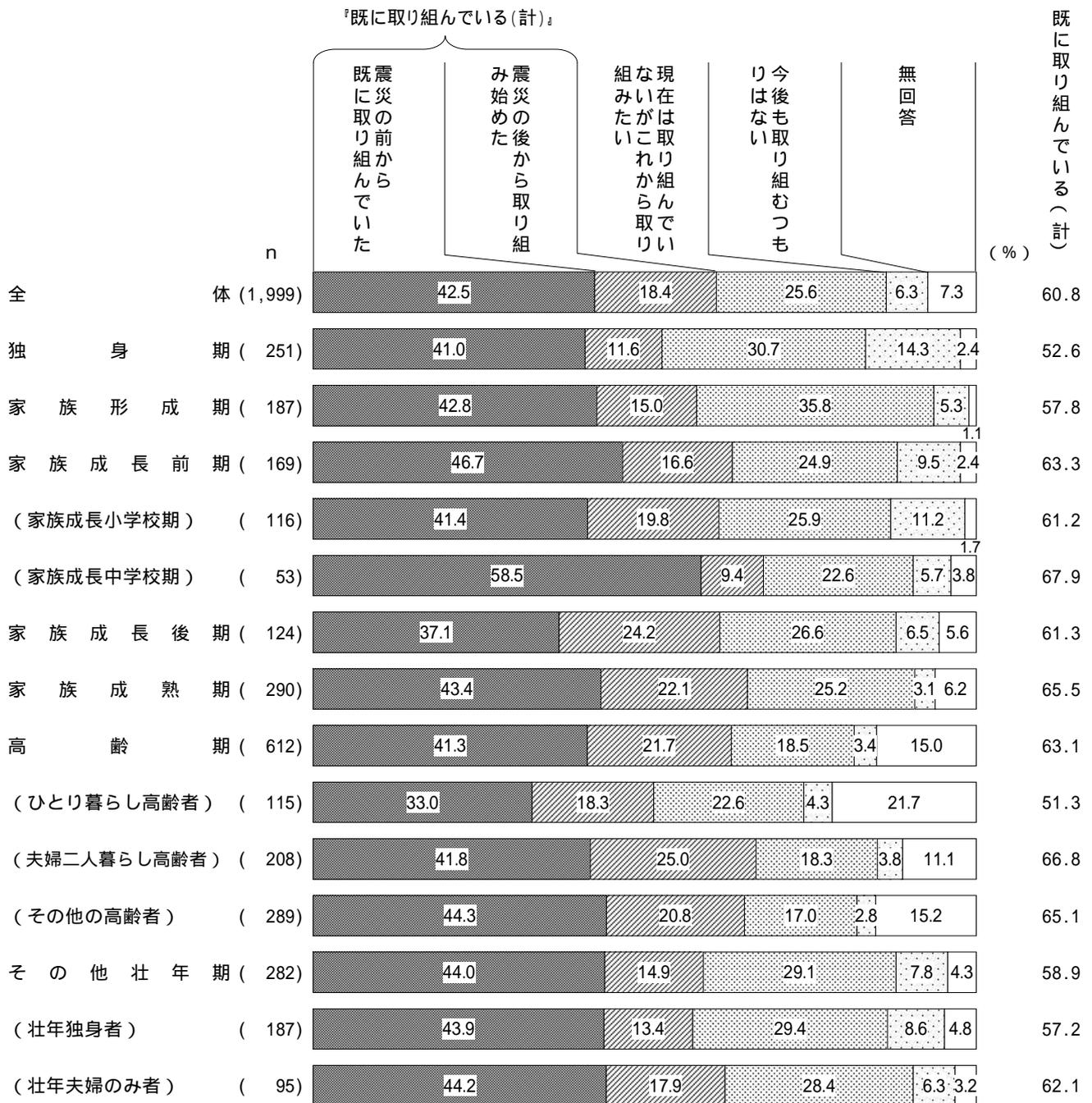
(ウ) 電化製品を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選ぶ



ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は家族成熟期(65.5%)で6割半ばと高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は家族形成期(35.8%)で3割半ば、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(14.3%)で1割半ばと高くなっている。(図3-5-14)

図3-5-14 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(エ)

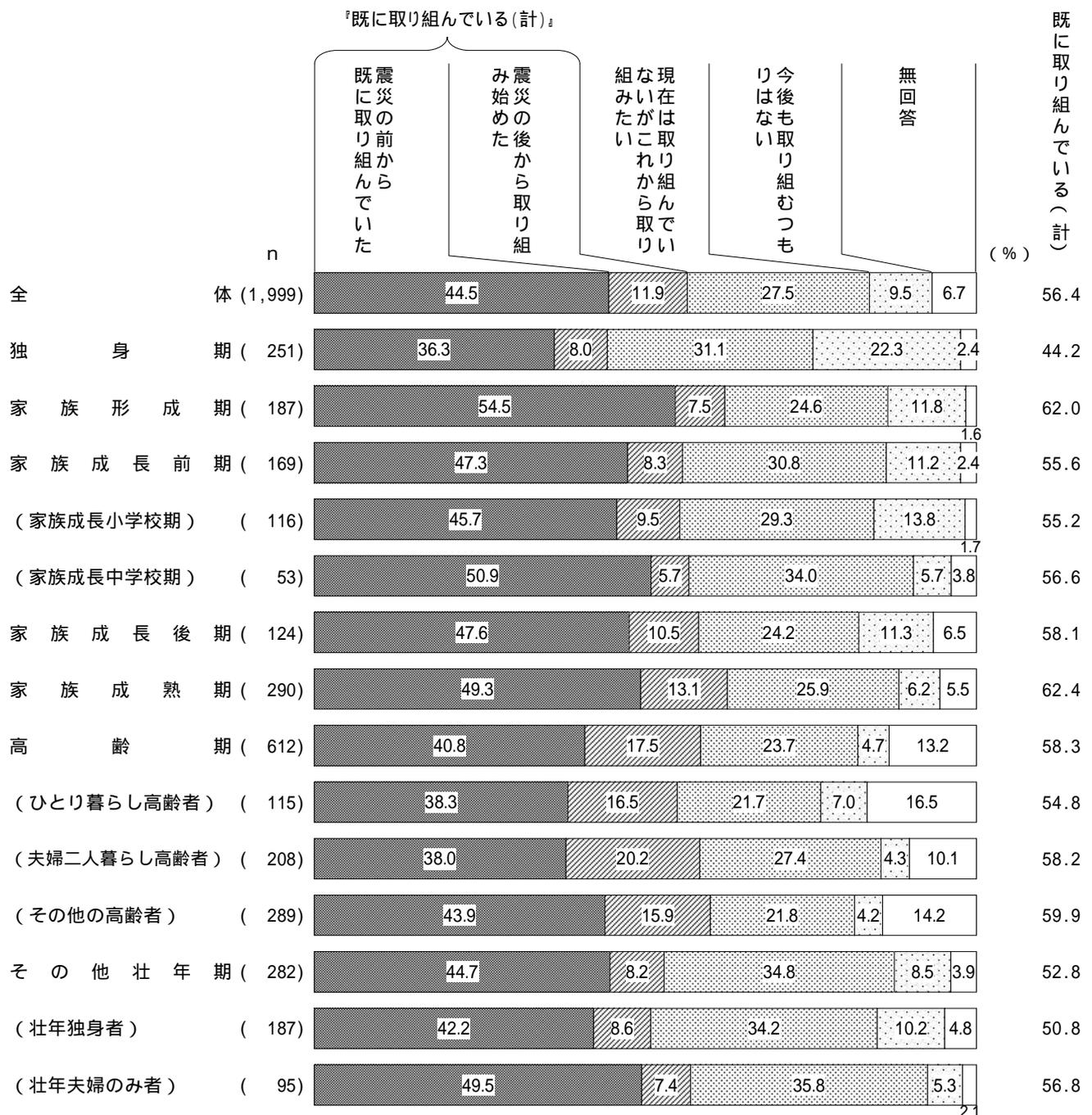
(エ) エネルギーやリサイクル、生き物や自然などの環境問題に関心を持つ



ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は家族成熟期(62.4%)と家族形成期(62.0%)で6割を超え高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」はその他壮年期(34.8%)で3割半ば、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(22.3%)で2割を超え高くなっている。(図3-5-15)

図3-5-15 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(オ)

(オ) 買い物のときは、古紙や再生プラスチックで作られた商品や、詰め替えができる商品など環境を考えて作られた商品を選ぶ

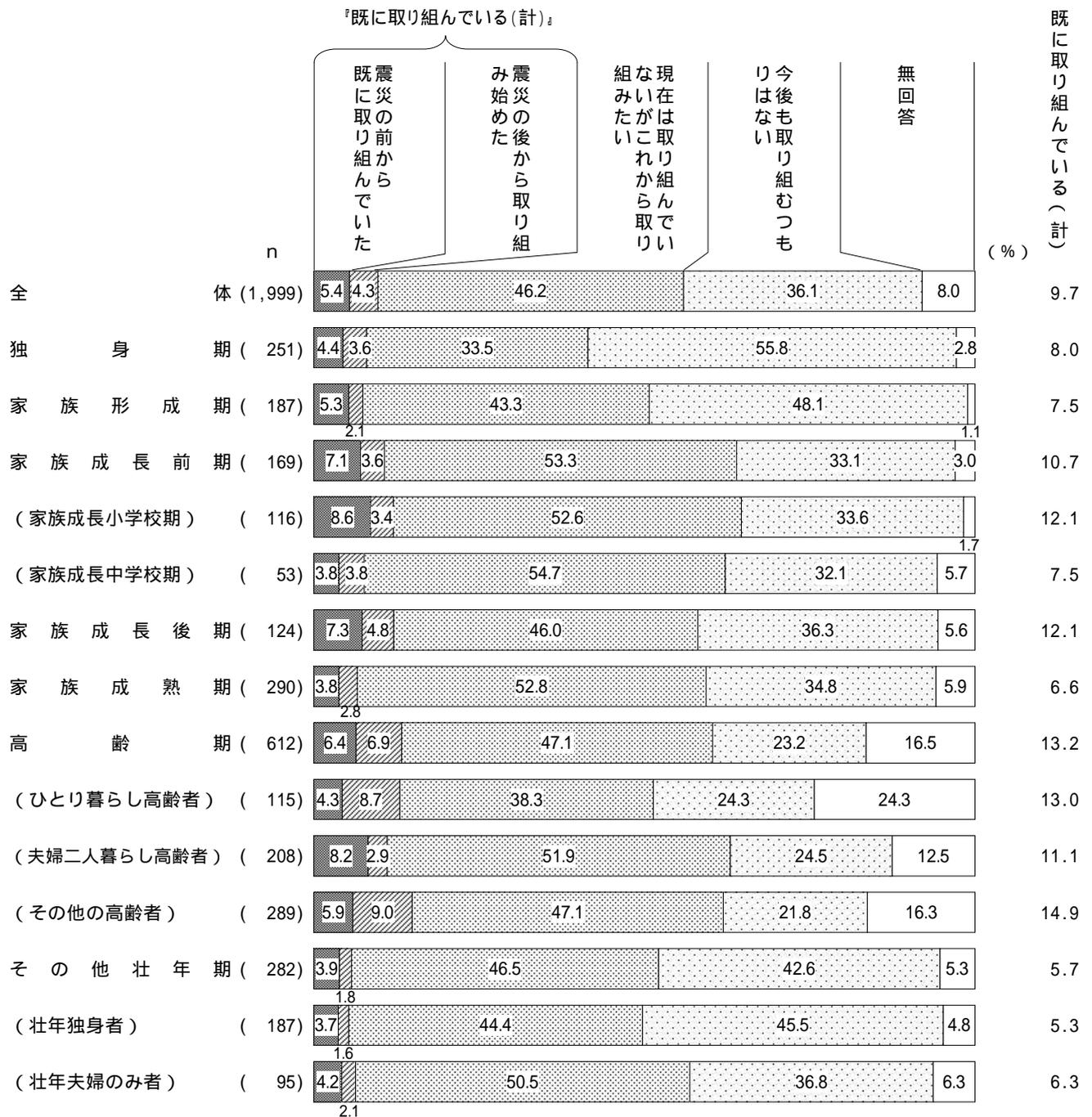


ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は高齢期(13.2%)、家族成長後期(12.1%)、家族成長前期(10.7%)で1割を超え高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は家族成長前期(53.3%)と家族成熟期(52.8%)で5割を超え、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(55.8%)で5割半ばと高くなっている。

(図3 - 5 - 16)

図3 - 5 - 16 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(カ)

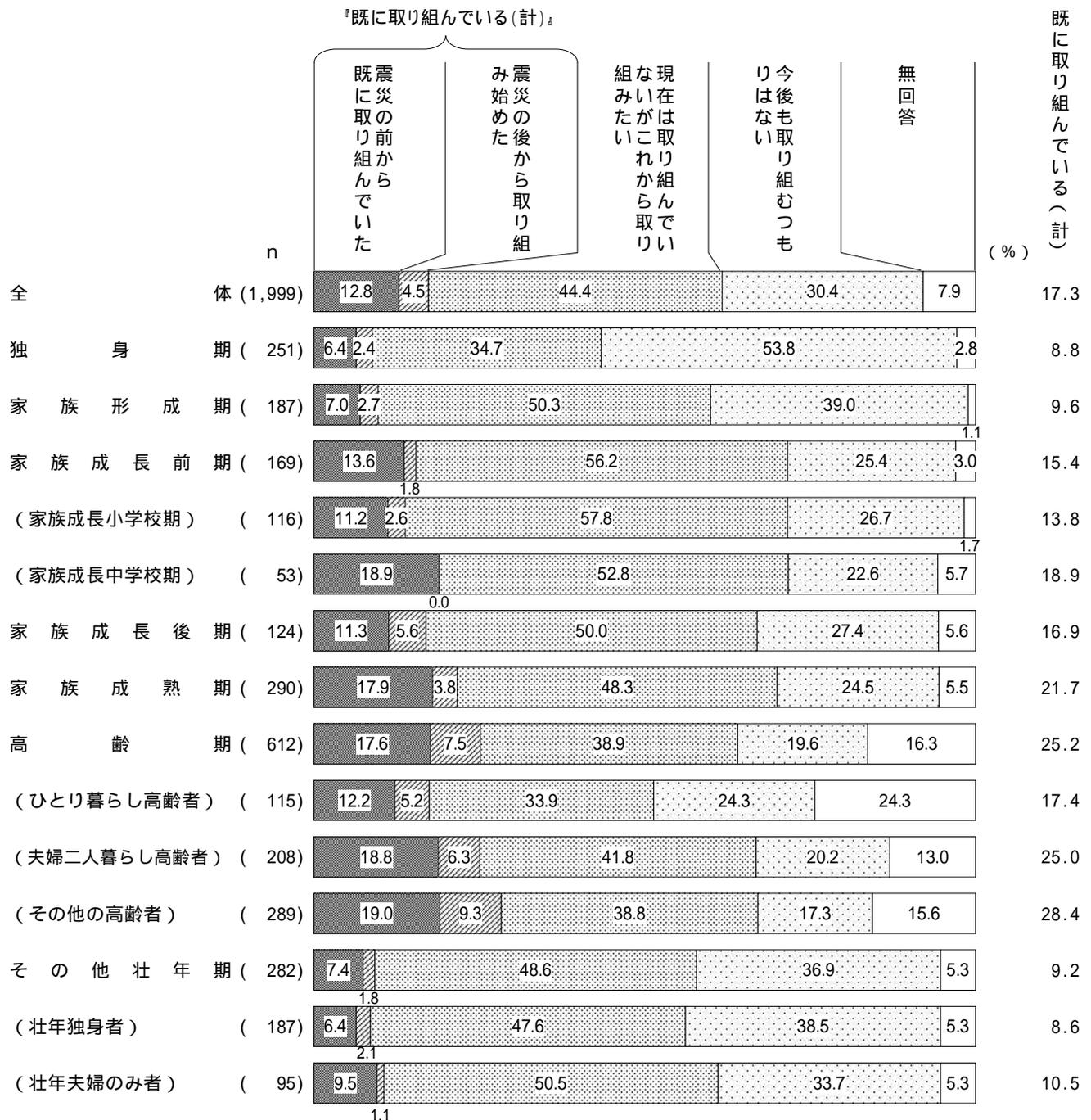
(カ) 自然体験や環境のイベントなどに参加する



ライフステージ別で見ると、『既に取り組んでいる(計)』は高齢期(25.2%)で2割半ばと高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は家族成長前期(56.2%)で5割半ば、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(53.8%)で5割を超え高くなっている。(図3-5-17)

図3-5-17 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(キ)

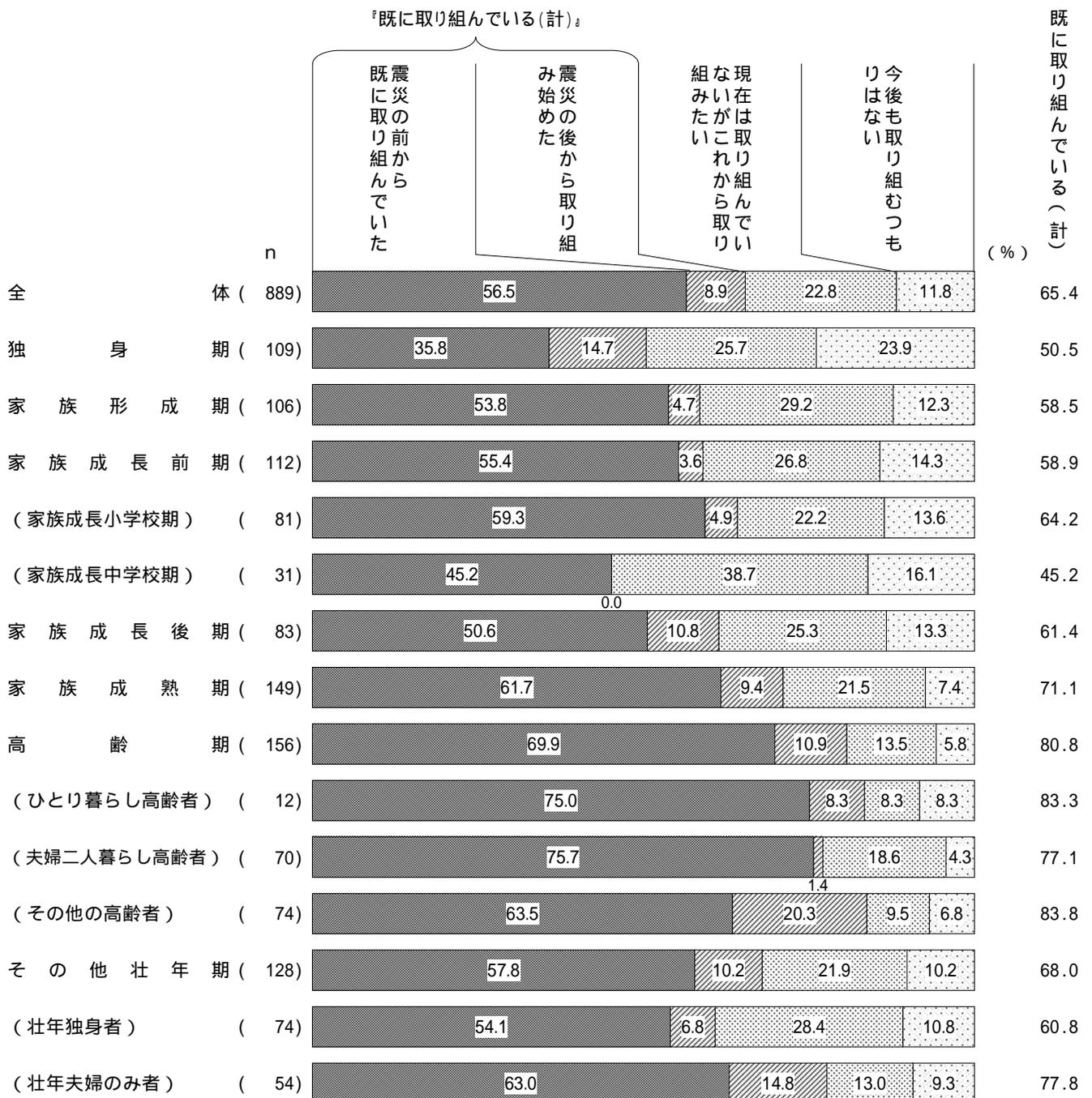
(キ) 花や緑、リサイクル、清掃活動など地域の環境活動に参加する



ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は高齢期(80.8%)で8割を超え高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は家族形成期(29.2%)でほぼ3割、「今後も取り組むつもりはない」は独身期(23.9%)で2割を超え高くなっている。(図3-5-18)

図3-5-18 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(ク)

(ク) 発進から5秒で時速20キロになるようなふんわりアクセルの運転を心がける



ライフステージ別でみると、『既に取り組んでいる(計)』は高齢期(71.7%)で7割を超え高くなっている。また、「現在は取り組んでいないがこれから取り組みたい」は家族成長前期(30.1%)で3割、「今後も取り組むつもりはない」は家族形成期(34.5%)で3割半ばと高くなっている。

(図3-5-19)

図3-5-19 エネルギー使用についての現在の状況 - ライフステージ別(ケ)

(ケ) 区内や都心への移動は、できるだけ車を使わず、鉄道・バス・自転車を利用する

